

全銀 EDI システム  
簡易 XML ファイル作成機能  
操作マニュアル

第 1.2 版

2018 年 12 月

一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク  
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

(改定履歴)

版数	制定日／改定日	制定／改定の要点
1.0 版	平成 30 年 8 月 15 日	・制定
1.1 版	平成 30 年 10 月 15 日	・画面表示内容および一部項目の属性の変更
1.2 版	平成 30 年 12 月 14 日	・免責事項の追加

# 目次

<b>第 1 章</b>	<b>はじめに</b>	
1.1	はじめに .....	1.1-1
1.2	用語集 .....	1.2-1
1.3	マニュアルの記載について	
1.3.1	マニュアル内のマーク.....	1.3-1
1.3.2	マニュアル内の表示内容 .....	1.3-1
1.4	動作環境 .....	1.4-1
1.5	接続するための準備.....	1.5-1
1.6	運用時間帯 .....	1.6-1
1.7	簡易 XML ファイル作成機能で提供するサービスについて.....	1.7-1
1.8	免責事項 .....	1.8-1
<b>第 2 章</b>	<b>簡易 XML ファイル作成機能</b>	
2.1	画面一覧 .....	2.1-1
2.2	簡易 XML ファイル作成機能の操作ガイド	
2.2.1	操作画面概要 .....	2.2-1
2.2.2	簡易 XML ファイル作成機能操作ガイド.....	2.2-5
2.2.3	エラー発生時の画面表示.....	2.2-16
<b>第 3 章</b>	<b>留意事項</b>	
3.1	サービス内容と画面操作に関する留意事項.....	3.1-1
3.2	セキュリティに関する留意事項 .....	3.2-1
<b>第 4 章</b>	<b>付録</b>	
4.1	簡易 XML ファイル作成機能で入力可能な文字 .....	4.1-1
4.2	メッセージ一覧.....	4.2-1
4.3	簡易 XML ファイル作成機能の出力ファイル	
4.3.1	ファイル一覧.....	4.3-1
4.3.2	ファイル仕様の基本事項.....	4.3-2
4.3.3	ファイル仕様.....	4.3-3
4.4	よくある質問と対処方法／回答 .....	4.4-1

# 第1章 はじめに

## 1.1 はじめに

本書は全銀 EDI システムの簡易 XML ファイル作成機能の操作方法を説明します。

## 1.2 用語集

簡易 XML ファイル作成機能に関する用語集を、表 1.2-1 に示します。

表 1.2-1 用語集

項番	用語	説明
1	一括ファイル伝送	JX 手順により企業から受け付けた総合振込依頼ファイルを金融機関へ送信し、金融機関から受け付けた総合振込結果ファイルを企業へ送信することをいいます。
2	外部システム	全銀 EDI システムへ接続するインターネットバンキング等の外部システムのことをいいます。
3	企業	全銀 EDI システムを利用する企業(個人事業主を含む)のことをいいます。
4	取引明細	総合振込の振込先(被仕向情報)の単位のことをいいます。
5	ISO20022	XML ファイルを主要なデータ記述言語として利用する、金融通信メッセージの国際規格のことをいいます。
6	BAH	総合振込における通信制御およびファイル制御を連携するためのインターフェースのことをいいます。
7	pain.001	「総合振込依頼」の振込情報を連携するためのインターフェースのことをいいます。
8	Base64 エンコード	対象データを 64 種類の印字可能な英数字(A-Z、a-z、0-9、+、/)とパディングのための記号(=)のテキストデータに変換するエンコード方式のことをいいます。
9	支払情報	簡易 XML ファイル作成機能の振込人情報入力画面で入力する、以下の入力項目のことをいいます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組日</li> <li>・振込依頼人情報</li> <li>・取引管理情報</li> </ul>
10	取引明細情報	簡易 XML ファイル作成機能の取引明細入力画面で入力する、以下の入力項目のことをいいます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・受取人情報</li> <li>・振込金額</li> <li>・その他取引明細情報</li> <li>・金融 EDI 情報</li> </ul>

## 1.3 マニュアルの記載について

### 1.3.1 マニュアル内のマーク

このマニュアルで使用しているマークとその内容を以下に説明します。

**メモ** ----- 操作手順や機能に関する補足事項です。

**！注意** ----- 操作手順や機能に関して注意が必要な事項です。

### 1.3.2 マニュアル内の表示内容

- ・このマニュアルで記載している画面の項目は、操作状況により表示内容が異なる場合があります。
- ・このマニュアルで記載している画面は Microsoft Windows 7 の Internet Explorer 11.0 で表示した画面となります。ご利用になるバージョンにより表示内容が異なる場合があります。
- ・このマニュアルで記載している画面の入力項目やエラーメッセージの内容は一例となります。

## 1.4 動作環境

簡易 XML ファイル作成機能に必要な環境を表 1.4-1、簡易 XML ファイル作成機能のサポート対象 OS とブラウザの構成を表 1.4-2 に示します。

表 1.4-1 簡易 XML ファイル作成機能に必要な環境

項番	対象	推奨スペック
1	CPU	対応 OS が推奨する環境以上
2	メモリ	対応 OS が推奨する環境以上
3	マウス	パソコン本体装置に対応しているもの
4	キーボード	英数字・記号・日本語入力可能なもの
5	ディスプレイ	1024×768ドット以上の画面解像度を推奨

表 1.4-2 簡易 XML ファイル作成機能のサポート対象 OS とブラウザの構成

項番	対象	製品名
1	OS	Microsoft Windows 7 Microsoft Windows 8.1 Microsoft Windows 10
2	ブラウザ	Internet Explorer 11.0 Microsoft Edge Firefox

### ！注意

- サポート対象 OS とブラウザは Microsoft 社のサポートの状況により見直しを行う場合があります。
- サポート対象外の OS とブラウザでも画面表示等ができる場合がございますが、一部の機能が動作しないなどの不具合が生じることがございます。
- セキュリティ確保のため、定期的に Windows Update、ウイルス検知ソフトウェアによる検疫を実施してください。
- Windows 8.1 以降については、デスクトップモードのみをサポート対象とします。

## 1.5 接続するための準備

簡易 XML ファイル作成機能をご利用いただくために必要なブラウザの設定を以下に示します。

### (1) ブラウザのインターネットオプションの設定

簡易 XML ファイル作成機能をご利用になるには、インターネットオプションの設定が必要です。以下の設定手順にしたがって設定を行ってください。設定手順は Internet Explorer 11.0 での手順を例にして説明します。

1. Internet Explorer を起動し、メニューから「ツール(T)」-「インターネットオプション(O)」を選択します。
2. インターネットオプション画面が表示されます。「セキュリティ」タブを選択し、「インターネット」を選択します。「このゾーンのセキュリティのレベル(L)」を「中高」以下にします。画面イメージを図 1.5-1 に示します。

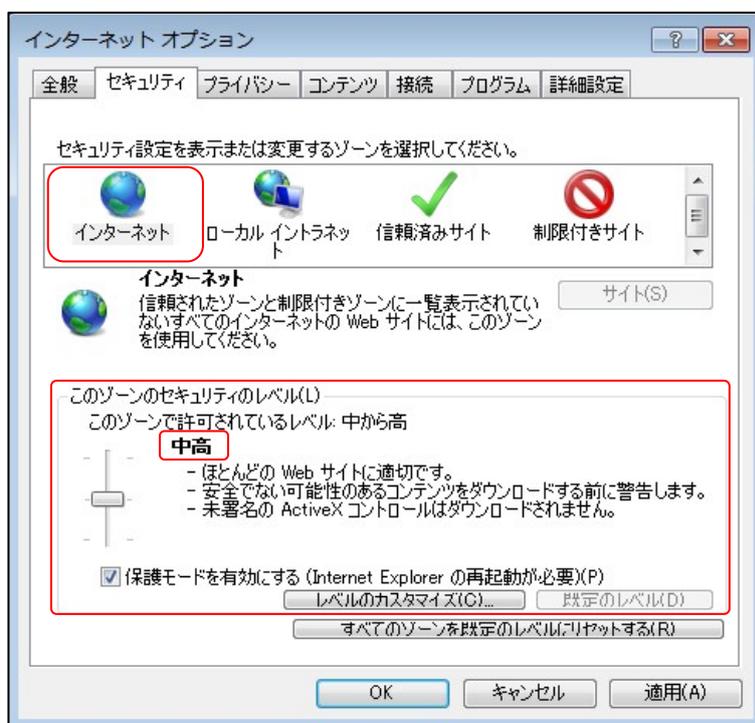


図 1.5-1 インターネットオプション画面(セキュリティタブ)イメージ

3. 「プライバシー」タブを選択し、「インターネットゾーンの設定」を「中-高」以下にします。「適用(A)」ボタン、「OK」ボタンをクリックします。画面イメージを図 1.5-2 に示します。

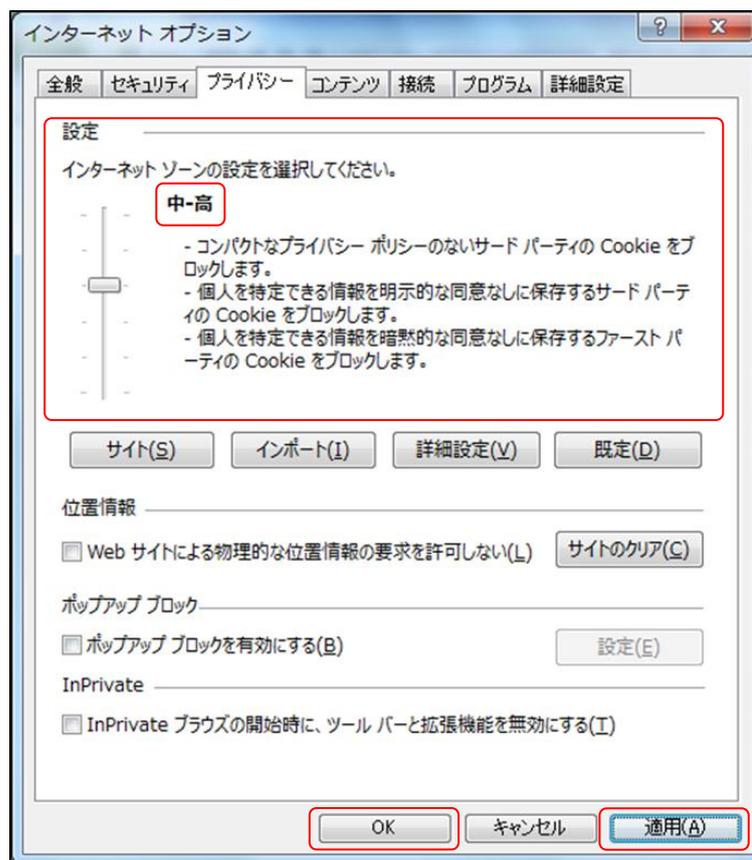


図 1.5-2 インターネットオプション画面(プライバシータブ)イメージ

## 1.6 運用時間帯

簡易 XML ファイル作成機能は表 1.6-1 に示す定期休止日および定期休止時間帯を除き、サービスを提供します。このほか、システムメンテナンス作業が発生した場合は、サービスを停止する場合があります。

表 1.6-1 簡易 XML ファイル作成機能の定期休止日、定期休止時間帯

項番	定期休止日	定期休止時間帯
1	土日祝日、年末年始(12/31、1/2~1/3)	営業日の 19:00~翌 8:00

運用時間帯を超過して操作した場合、図 1.6-1 に示すエラー画面が表示されます。エラー画面が表示された場合は、運用時間帯に再度アクセスしてください。

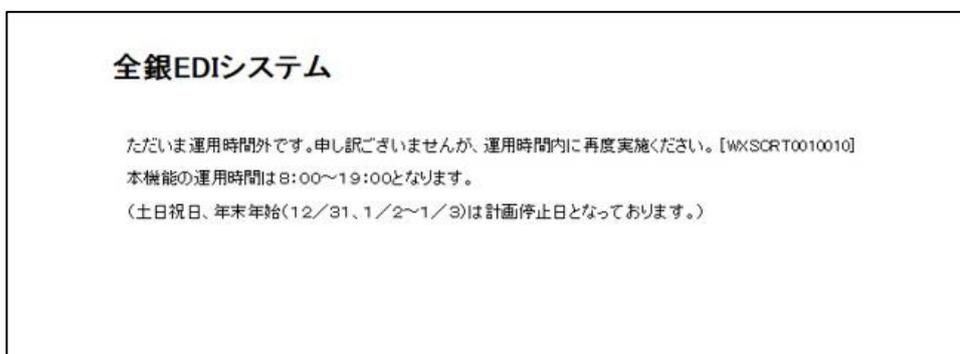


図 1.6-1 運用時間外エラー画面イメージ

## 1.7 簡易 XML ファイル作成機能で提供するサービスについて

簡易 XML ファイル作成機能は入力された決済情報および金融 EDI 情報をもとに、総合振込に利用する pain.001 形式の総合振込依頼明細ファイル(以下、「XML ファイル」という。)および総合振込依頼明細(確認用)ファイル(以下、「XML 確認用ファイル」という。)を作成します。また、作成した XML ファイルおよび XML 確認用ファイルはダウンロードすることが可能です。

XML ファイルを利用した、一括ファイル伝送および外部システムによる、全銀 EDI システムへの依頼方法について、図 1.7-1 に示します。

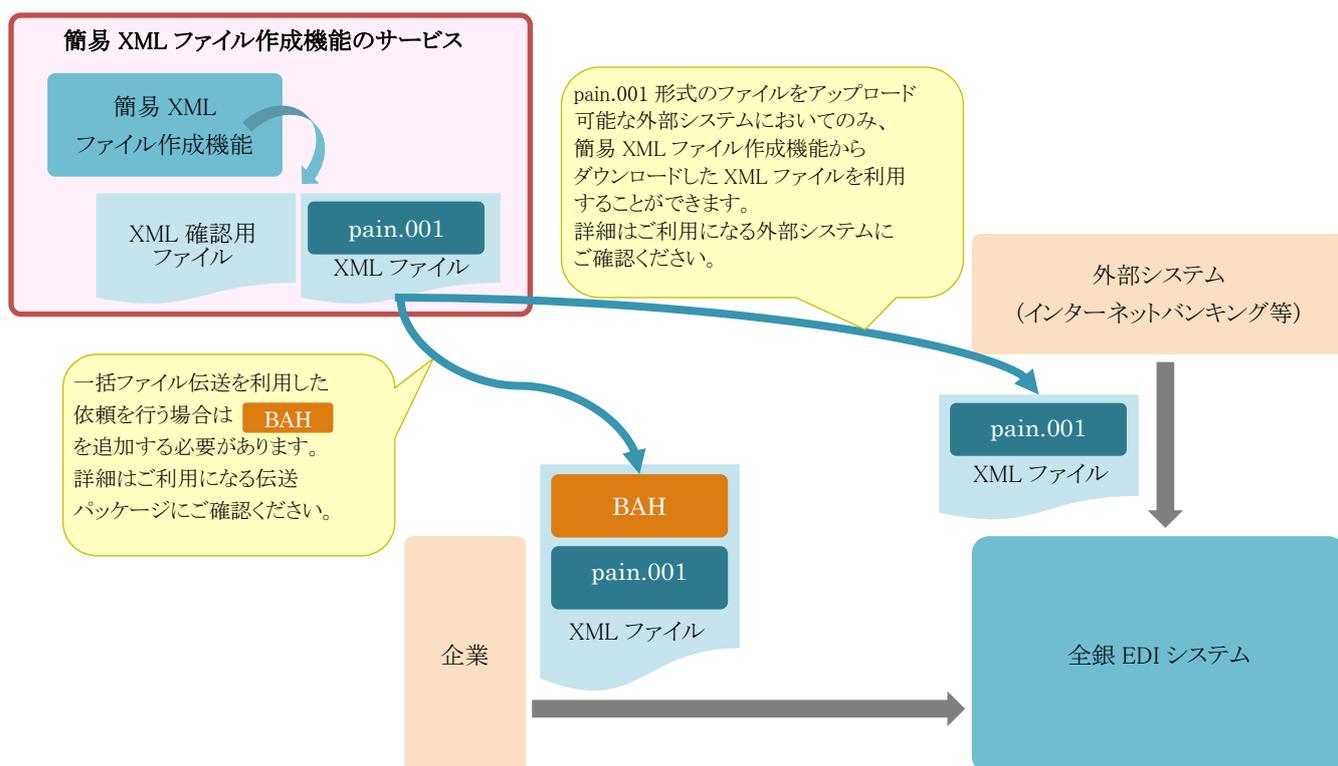


図 1.7-1 一括ファイル伝送および外部システムによる全銀 EDI システムへの依頼方法について

## 1.8 免責事項

- 1.当サイトは、お客様の便宜に供するためのものであり、お客様ご自身の責任において利用いただくことができるものとします。
- 2.当サイトの利用より、万一お客様に損害が生じても、当法人は責任を負いませんので、予めご了承ください。
- 3.第三者、または当法人に損害や不利益を与える行為、第三者、または当法人の信用や名誉を損なう行為は禁止とさせていただきます。
- 4.当サイトに収録・掲載されているコンテンツのレイアウト、デザインおよび構造に関する著作権は当法人に帰属します。画像等ご利用の際には事前に当法人の承諾が必要です。

免責事項は、ヘッダーエリアの免責事項リンクをクリックした際に画面に表示します。画面イメージを図 1.8-1 に示します。

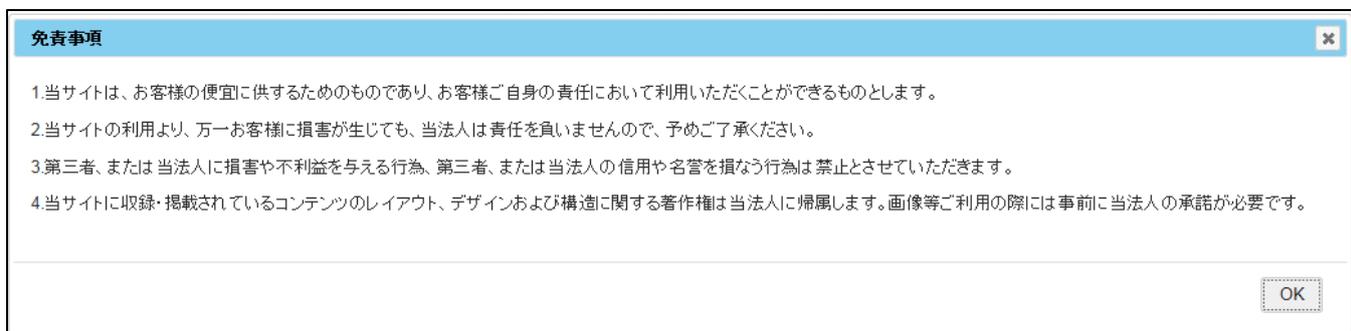


図 1.8-1 免責事項の画面イメージ

## 第2章 簡易 XML ファイル作成機能

## 2.1 画面一覧

簡易 XML ファイル作成機能の画面一覧を表 2.1-1 に示します。

表 2.1-1 画面一覧

項番	画面名	概要
1	振込人情報入力	取組日(振込指定日)および振込依頼人情報等の支払情報の入力、ならびに XML ファイルおよび XML 確認用ファイルのダウンロード等を実施する画面です。
2	取引明細入力	受取人情報、振込金額、および金融 EDI 情報等の取引明細情報を入力する画面です。

## 2.2 簡易 XML ファイル作成機能の操作ガイド

### 2.2.1 操作画面概要

#### (1) 操作画面の構成

簡易 XML ファイル作成機能の操作画面の構成を図 2.2-1 に示します。

**全銀EDIシステム**

利用可能時間 8:00~19:00 [マニュアルダウンロード](#) 本サービスのご利用マニュアルはこちらよりダウンロードできます。 [変更基準](#)

**簡易XMLファイル作成\_総合振込依頼\_取引明細入力**

本画面では、受取人情報、振込金額、その他取引明細情報、金融EDI情報を入力します。

**エラーメッセージ**

\*は必須項目です。

■ 受取人情報

受取人名 *	法人番号(法人マイナンバー)	手形交換所番号
(半角30文字以内)	(半角数字13桁)	(半角数字4桁)

銀行番号 *	銀行名	支店番号 *	支店名
(半角数字4桁)	(半角15文字以内)	(半角数字3桁)	(半角15文字以内)

預金種目 *	口座番号 *
▼	(半角数字7桁以内)

■ 振込金額

振込金額(円) *
(半角数字10桁以内)

■ その他取引明細情報

取引明細識別番号 *注1	顧客コード1	顧客コード2
(半角35文字以内)	(半角10文字以内)	(半角10文字以内)

振込指定区分	識別表示	ダミー(ヘッダー)	ダミー(データ)	新規コード *注2
▼	(半角1桁)	(半角17文字以内)	(半角7文字以内)	▼

注1 取引明細を識別するための任意の番号を入力してください。S-2EDIでは1ファイル毎に最大10件の取引明細を作成可能です。  
 注2 新規コードで下記記のいずれかより選択して下さい。選択内容に関するお問合せは、お取引先金融機関までお願いいたします。  
 0(その他) 1(第1回振込分) 2(変更分・兼任向銀行・支店、預金種目・口座番号)

■ 金融EDI情報

金融EDI情報1	
業界区分(半角英数字3文字以内)(1)	
子区分(半角英数字3文字以内)(1)	
支払通知番号(全半角(自由入力)40文字以内)(1)	
支払通知発行日(YYYYMMDD)(1)	
請求番号(入力推奨)(全半角(自由入力)40文字以内)(1)	
支払人企業法人コード(入力推奨)(半角数字13桁)(1)	
受取人企業法人コード(半角数字13桁)(1)	
請求先企業名(全半角(自由入力)40文字以内)(1)	
請求先企業法人コード(半角数字13桁)(1)	
支払金額(明細)(半角英数字10文字以内)(1)	
金額相殺理由(全半角(自由入力)40文字以内)(1)	
相殺金額(半角英数字10文字以内)(1)	
税額1(半角英数字10文字以内)(1)	
税額2(半角英数字3桁以内)(1)	
税額3(半角英数字10文字以内)(1)	
税額4(半角英数字3桁以内)(1)	
税額(合計)(半角英数字10文字以内)(1)	
備考(全半角(自由入力)140文字以内)(1)	

[取引明細一覧へ反映](#) 入力された情報を取引明細一覧に反映し、前画面に移動します。

[取引明細一覧へ反映せずに戻る](#) 入力された情報を取引明細一覧に反映せずに、前画面に移動します。入力された情報は破棄されます。

30分以上操作がない場合、入力された情報は破棄されます。  
 本サービスにご不明な点がある場合には、ご利用の金融機関までお問合わせください。

図 2.2-1 画面の構成

## (2) 各エリアの出力情報

簡易XMLファイル作成機能の画面における各エリアの出力情報を、以下に示します。

### ① ヘッダーエリア

ヘッダーエリアは、システム名や利用可能時間等の情報を表示するエリアです。画面イメージを図 2.2-2 に示します。

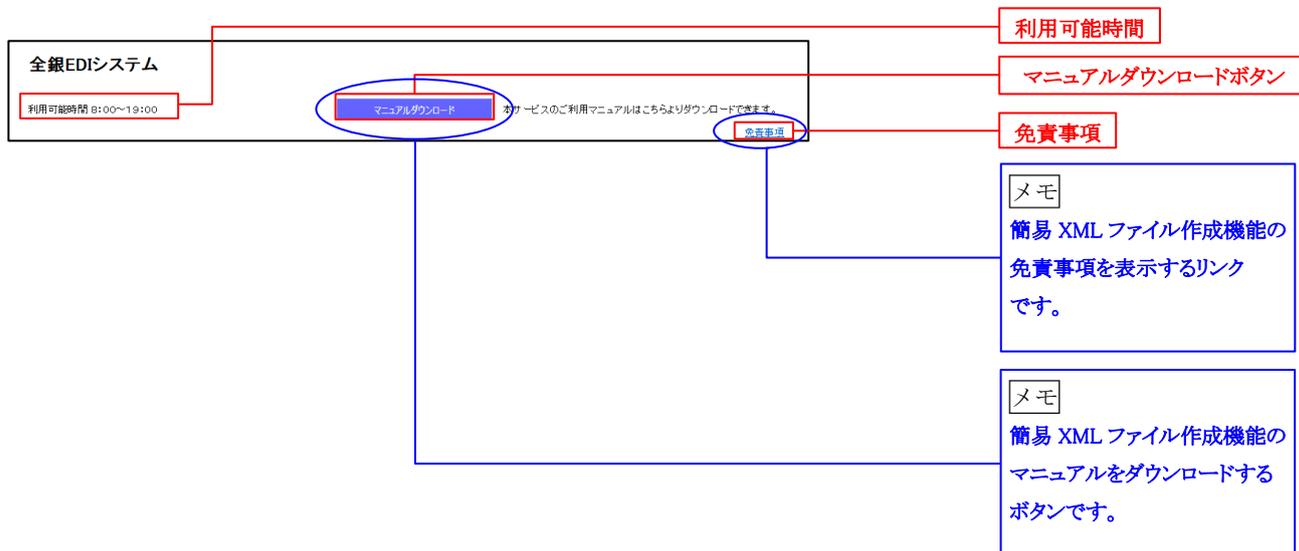


図 2.2-2 ヘッダーエリアのイメージ

### ② タイトルエリア

タイトルエリアは、画面名や画面の説明を表示するエリアです。画面イメージを図 2.2-3 に示します。



図 2.2-3 タイトルエリアのイメージ

### ③ メッセージエリア

メッセージエリアは、入力した内容に対するエラーの情報を表示するエリアです。当エリアは、エラーがある場合のみ表示します。画面イメージを図 2.2-4 に示します。

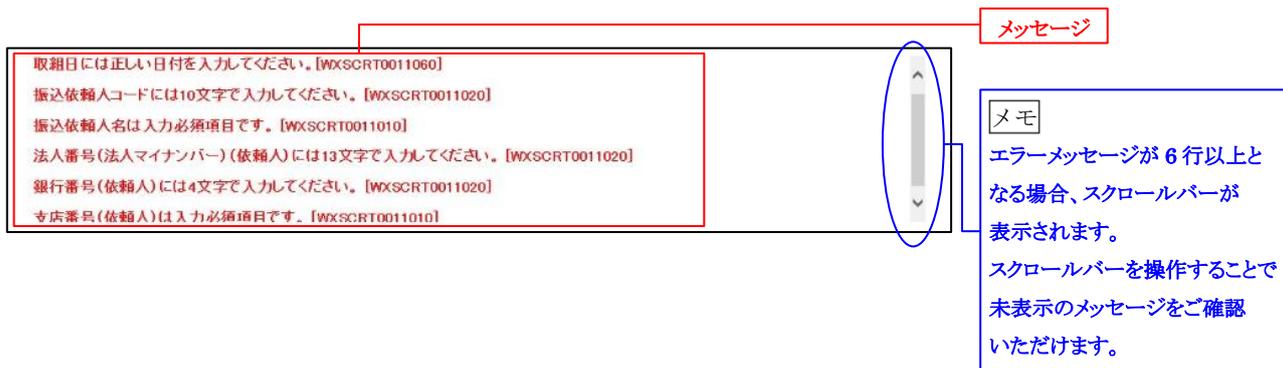


図 2.2-4 メッセージエリアのイメージ

④ 操作エリア

操作エリアは、各画面固有の情報が表示され、情報入力などの操作をするエリアです。画面イメージを図 2.2-5 に示します。

※は必須項目です。

■取組日  
取組日(振込指定日) ※  
(YYYYMMDD)

■振込依頼人情報  
振込依頼人コード ※ (半角数字10桁)  
振込依頼人名 ※ (半角40文字以内)  
法人番号(法人マイナンバー) (半角数字18桁)

銀行番号 ※ (半角数字4桁)  
銀行名 (半角15文字以内)  
支店番号 ※ (半角数字3桁)  
支店名 (半角15文字以内)

預金種目 (半角数字7桁以内)  
口座番号 (半角数字7桁以内)

■取引管理情報  
グループメッセージID ※注1 (半角35文字以内)  
支払情報ID ※注2 (半角35文字以内)  
注1 初期値は「作成年月日時分+001」です。変更される場合、作成する総合振込依頼明細ファイルに割当する任意の番号を入力してください。  
注2 初期値は「作成年月日時分+001」です。変更される場合、支払情報に割当する任意の番号を入力してください。

■取引明細一覧  
取引明細入力 受取人情報、振込金額、その他取引明細情報、金融EDV情報を入力する画面へ移動します。  
取引明細削除 (チェックした取引明細を一覧から削除します。)

■取引明細合計  
合計件数(件) 0  
合計金額(円) 0

総合振込依頼明細(確認用)ファイルダウンロード  
入力された情報を確認するための、総合振込依頼明細(確認用)ファイルをダウンロードします。このファイルは内容確認用のファイルであり、総合振込にはご利用できません。

総合振込依頼明細ファイルダウンロード  
総合振込にご利用可能な総合振込依頼明細ファイルをダウンロードします。総合振込にはこちらのファイルをご利用ください。

メモ  
入力可能文字の属性および入力範囲です。入力項目ごとに、入力可能文字の属性および入力範囲が異なります。入力可能文字の属性および入力範囲の見方を、図 2.2-6 に示します。

メモ  
入力必須項目には、項目名の横に「※」を表示します。

メモ  
クリックすると、ドロップダウンリストに選択肢が表示されます。

メモ  
グレーアウトされたボタンはクリックできません。操作可能条件を満たした場合にボタンの色が変わり、クリックできるようになります。

図 2.2-5 操作エリアのイメージ

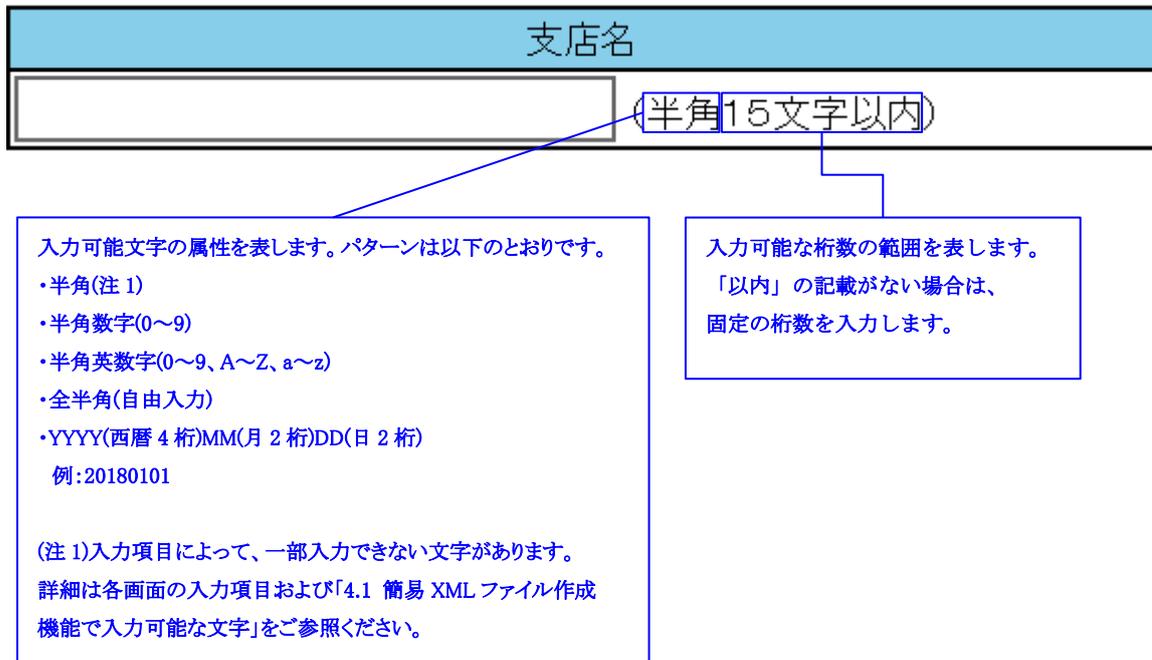


図 2.2-6 入力可能文字および入力範囲の見方

## ⑤ フッターエリア

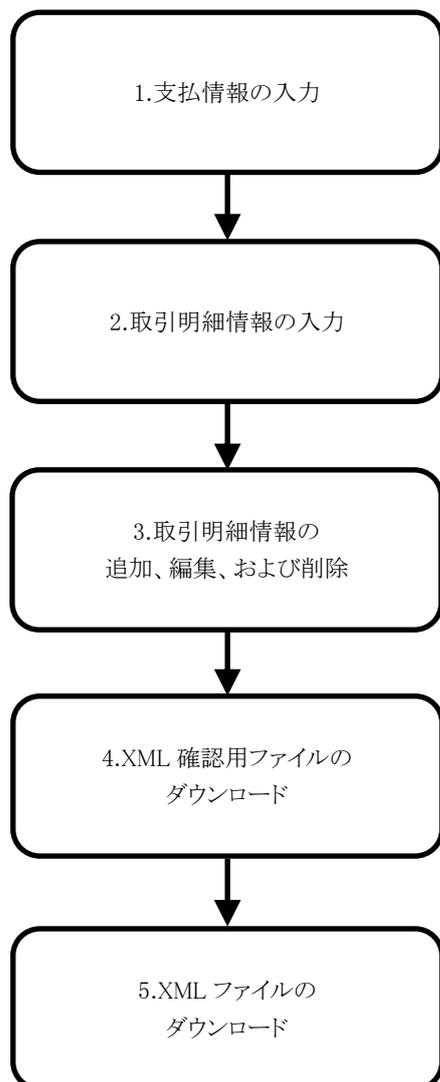
フッターエリアは、本サービスに関する案内やお問合せ先などを表示するエリアです。画面イメージを、  
図 2.2-7 に示します。



図 2.2-7 フッターエリアのイメージ

## 2.2.2 簡易 XML ファイル作成機能操作ガイド

### (1) 操作の流れ



(2) 操作手順

1. 支払情報の入力

全銀EDIシステム

利用可能時間 8:00~19:00 [マニュアルダウンロード](#) 本サービスのご利用マニュアルはこちらよりダウンロードできます。 [会員登録](#)

簡易XMLファイル作成\_総合振込依頼\_振込人情報入力

本画面では、入力情報をもとに総合振込に利用するXMLファイルを作成できます。  
※は必須項目です。

①

■取引日  
取引日(振込指定日) ※  
(YYYYMMDD)

■振込依頼人情報  
振込依頼人コード ※ (半角数字10桁) 振込依頼人名称 ※ (半角40文字以内) 法人番号(法人マイナンバー) (半角数字13桁)  
銀行番号 ※ (半角数字4桁) 銀行名 (半角15文字以内) 支店番号 ※ (半角数字3桁) 支店名 (半角15文字以内)  
預金種目 (半角数字7桁以内) 口座番号

■取引管理情報  
グループメッセージID ※注1 (半角35文字以内) 支払情報ID ※注2 (半角35文字以内)  
201711171700001 201711171700001  
注1 初期値は「作成年月日時分+00」です。変更される場合、作成する総合振込依頼明細ファイルに割当てする任意の番号を入力してください。  
注2 初期値は「作成年月日時分+00」です。変更される場合、支払情報に割当てする任意の番号を入力してください。

②

■取引明細一覧  
取引明細入力 発取人情報、振込金額、その他取引明細情報、金融ID情報を入力する画面へ移動します。  
取引明細削除 チェックした取引明細を一覧から削除します。

■取引明細合計  
合計件数(件) 0 合計金額(円) 0

総合振込依頼明細 (確認用) ファイルダウンロード 入力された情報を確認するための、総合振込依頼明細(確認用)ファイルをごダウンロードします。このファイルは内容確認用のファイルであり、総合振込にはご利用できません。

総合振込依頼明細 ファイルダウンロード 総合振込にご利用可能な総合振込依頼明細ファイルをごダウンロードします。総合振込にはこちらのファイルをご利用ください。

30分以上操作がない場合、入力された情報は破棄されます。  
本サービスにご不明な点がある場合には、ご利用の金融機関までお問い合わせください。

①簡易XMLファイル作成機能のURL(<https://www.simple.zedi.jp/>)にアクセスすると、振込人情報入力画面が表示されます。取引日(振込指定日)、振込依頼人情報、および取引管理情報を入力してください。

②「取引明細入力」ボタンをクリックしてください。

表 2.2-1 振込依頼人情報入力画面の入力項目

項番	項目名	内容
1	取組日	—
2	取組日(振込指定日)(注 1)	取組日(振込指定日)(YYYY(西暦 4 桁)MM(月 2 桁)DD(日 2 桁))を入力してください。
3	振込依頼人情報	—
4	振込依頼人コード(注 1)	振込依頼人コード(取引企業コード)を入力してください。
5	振込依頼人名(注 1)	振込依頼人名を入力してください。 当項目に入力可能な文字について、「4.1 簡易 XML ファイル作成機能で入力可能な文字 (1)人名に入力可能な文字」をご参照ください。
6	法人番号(法人マイナンバー)	振込依頼人の法人番号(法人マイナンバー)を入力してください。
7	銀行番号(注 1)	仕向銀行番号を入力してください。
8	銀行名(注 1)	仕向銀行名を入力してください。 当項目に入力可能な文字について、「4.1 簡易 XML ファイル作成機能で入力可能な文字 (2)銀行名、識別表示、およびダミーに入力可能な文字」をご参照ください。
9	支店番号(注 1)	仕向支店番号を入力してください。
10	支店名(注 1)	仕向支店名を入力してください。 当項目に入力可能な文字について、「4.1 簡易 XML ファイル作成機能で入力可能な文字 (3)支店名に入力可能な文字」をご参照ください。
11	預金種目(注 1)	振込依頼人の預金種目を以下のいずれかから選択してください。 ・普通預金 ・当座預金 ・その他
12	口座番号(注 1)	振込依頼人の口座番号を入力してください。
13	取引管理情報	—
14	グループメッセージ ID	作成する XML ファイルを一意に識別するためのグループメッセージ ID を入力してください。 初期値として現在日時(YYYY(西暦 4 桁)MM(月 2 桁)DD(日 2 桁)hh(時 2 桁)mm(分 2 桁))+“001”を表示します。 変更される場合、作成する総合振込依頼明細ファイルに割当てる任意の番号を入力してください。 当項目に入力可能な文字について、「4.1 簡易 XML ファイル作成機能で入力可能な文字 (4)各種 ID および取引明細識別番号に入力可能な文字」をご参照ください。
15	支払情報 ID	作成する XML ファイルの支払情報を一意に識別するための支払情報 ID を入力してください。 初期値として現在日時(YYYY(西暦 4 桁)MM(月 2 桁)DD(日 2 桁)hh(時 2 桁)mm(分 2 桁))+“001”を表示します。 変更される場合、支払情報に割当てる任意の番号を入力してください。 当項目に入力可能な文字について、「4.1 簡易 XML ファイル作成機能で入力可能な文字 (4)各種 ID および取引明細識別番号に入力可能な文字」をご参照ください。

(注 1)全銀協制定レコード・フォーマットの総合振込レコード・フォーマットにおける項目と同等の項目です。

2. 取引明細情報の入力

全銀EDIシステム

利用可能時間 8:00~19:00 [マニュアルダウンロード](#) 本サービスのご利用マニュアルはこちらよりダウンロードできます。 [会員登録](#)

簡易XMLファイル作成 総合振込依頼 取引明細入力

本画面では、受取人情報、振込金額、その他取引明細情報、金融EDI情報を入力します。  
※は必須項目です。

①

■受取人情報

受取人名 ※	法人番号(法人マイナンバー)	手形交換所番号	
(半角30文字以内)	(半角数字13桁)	(半角数字4桁)	
銀行番号 ※	銀行名	支店番号 ※	支店名
(半角数字4桁)	(半角15文字以内)	(半角数字3桁)	(半角15文字以内)
預金種目 ※	口座番号 ※		
	(半角数字7桁以内)		

■振込金額

振込金額(円) ※
(半角数字10桁以内)

■その他取引明細情報

取引明細識別番号 ※注1	顧客コード1	顧客コード2		
(半角95文字以内)	(半角10文字以内)	(半角10文字以内)		
振込指定区分	識別表示	ダミー(ヘッダー)	ダミー(データ)	新規コード ※注2
	(半角1桁)	(半角17文字以内)	(半角7文字以内)	

注1 取引明細を識別するための任意の番号を入力してください。S-ZEDIでは1ファイル毎に最大10件の取引明細を作成可能です。  
注2 新規コードを下記のいずれかより選択して下さい。選択内容に関するお問合せは、お取引先金融機関までお願いいたします。  
0(その他) 1(第1回振込分) 2(変更分(振込向銀行・支店、預金種目・口座番号))

■金融EDI情報

金融EDI情報1	
業界区分(半角英数字8文字以内)(1)	
データ区分(半角英数字8文字以内)(1)	
支払通知番号(半角(自由入力)40文字以内)(1)	
支払通知発行日(YYYYMMDD)(1)	
請求番号(入力推奨)(半角(自由入力)40文字以内)(1)	
支払人企業法人コード(入力推奨)(半角数字18桁)(1)	
受取人企業法人コード(半角数字18桁)(1)	
請求先企業名(半角(自由入力)40文字以内)(1)	
請求先企業法人コード(半角数字18桁)(1)	
支払金額(明細)(半角英数字10文字以内)(1)	
金額相殺理由(半角(自由入力)40文字以内)(1)	
相殺金額(半角英数字10文字以内)(1)	
税額1(半角英数字10文字以内)(1)	
税率1(半角数字3桁以内)(1)	
税額2(半角英数字10文字以内)(1)	
税率2(半角数字3桁以内)(1)	
税額(合計)(半角英数字10文字以内)(1)	
備考(半角(自由入力)140文字以内)(1)	

②

取引明細一覧へ反映 入力された情報を取引明細一覧に反映し、前画面に移動します。

取引明細一覧へ反映せずに戻る 入力された情報を取引明細一覧に反映せずに、前画面に移動します。入力された情報は破棄されます。

30分以上操作がない場合、入力された情報は破棄されます。  
本サービスにご不明な点がある場合には、ご利用の金融機関までお問い合わせください。

①取引明細入力画面が表示されます。受取人情報、振込金額、その他取引明細情報、および金融EDI情報を入力してください。

②「取引明細一覧へ反映」ボタンをクリックしてください。取引明細入力画面で入力した情報を反映せずに戻る場合は、「取引明細一覧へ反映せずに戻る」ボタンをクリックすると、入力した情報を反映せずに振込人情報入力画面に戻ります。

**！注意**

・ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

表 2.2-2 取引明細入力画面の入力項目(1/2)

項番	項目名	内容
1	受取人情報	—
2	受取人名(注 1)	受取人名を入力してください。 当項目に入力可能な文字について、「4.1 簡易 XML ファイル作成機能で入力可能な文字 (1)人名に入力可能な文字」をご参照ください。
3	法人番号(法人マイナンバー)	受取人の法人番号(法人マイナンバー)を入力してください。
4	手形交換所番号(注 1)	手形交換所番号を入力してください。
5	銀行番号(注 1)	被仕向銀行番号を入力してください。
6	銀行名(注 1)	被仕向銀行名を入力してください。 当項目に入力可能な文字について、「4.1 簡易 XML ファイル作成機能で入力可能な文字 (2)銀行名、識別表示、およびダミーに入力可能な文字」をご参照ください。
7	支店番号(注 1)	被仕向支店番号を入力してください。
8	支店名(注 1)	被仕向支店名を入力してください。 当項目に入力可能な文字について、「4.1 簡易 XML ファイル作成機能で入力可能な文字 (3)支店名に入力可能な文字」をご参照ください。
9	預金種目(注 1)	受取人の預金種目を以下のいずれかから選択してください。 ・普通預金 ・当座預金 ・貯蓄預金 ・その他
10	口座番号(注 1)	受取人の口座番号を入力してください。
11	振込金額	—
12	振込金額(注 1)	振込金額を入力してください。
13	その他取引明細情報	—
14	取引明細識別番号	取引明細を識別するための任意の番号を入力してください。 簡易 XML ファイル作成機能では 1 ファイル毎に最大 10 件の取引明細を作成可能です。 当項目に入力可能な文字について、「4.1 簡易 XML ファイル作成機能で入力可能な文字 (4)各種 ID および取引明細識別番号に入力可能な文字」をご参照ください。
15	顧客コード 1(注 1)	顧客コード 1 を入力してください。 当項目に入力可能な文字について、「4.1 簡易 XML ファイル作成機能で入力可能な文字 (5)顧客コードに入力可能な文字」をご参照ください。
16	顧客コード 2(注 1)	顧客コード 2 を入力してください。 当項目に入力可能な文字について、「4.1 簡易 XML ファイル作成機能で入力可能な文字 (5)顧客コードに入力可能な文字」をご参照ください。
17	振込指定区分(注 1)	振込指定区分を以下のいずれかから選択してください。 ・テレ振込 ・文書振込
18	識別表示(注 1)	識別表示を入力してください。 当項目に入力可能な文字について、「4.1 簡易 XML ファイル作成機能で入力可能な文字 (2)銀行名、識別表示、およびダミーに入力可能な文字」をご参照ください。

(注 1) 全銀協制定レコード・フォーマットの総合振込レコード・フォーマットにおける項目と同等の項目です。

表 2.2-2 取引明細入力画面の入力項目(2/2)

項番	項目名	内容
19	ダミー(ヘッダー)(注1)	取引先の金融機関から指定された「ダミー(ヘッダー)」を入力してください。 指定がない場合は入力不要です。 当項目に入力可能な文字について、「4.1 簡易 XML ファイル作成機能で入力可能な文字 (2)銀行名、識別表示、およびダミーに入力可能な文字」をご参照ください。
20	ダミー(データ)(注1)	取引先の金融機関から指定された「ダミー(データ)」を入力してください。 指定がない場合は入力不要です。 当項目に入力可能な文字について、「4.1 簡易 XML ファイル作成機能で入力可能な文字 (2)銀行名、識別表示、およびダミーに入力可能な文字」をご参照ください。
21	新規コード(注1)	新規コードを以下のいずれかから選択してください。 選択内容に関するお問合せは、お取引先金融機関までお願いいたします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他</li> <li>・第1回振込分</li> <li>・変更分(被仕向銀行・支店、預金種目・口座番号)</li> </ul>
22	金融 EDI 情報	受取人に対して通知する金融 EDI 情報を入力してください。 金融 EDI 情報は 1~10 回分繰り返し入力できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・金融 EDI 情報に入力する項目については表 2.2-3 をご参照ください。</li> </ul>

(注1) 全銀協制定レコード・フォーマットの総合振込レコード・フォーマットにおける項目と同等の項目です。

表 2.2-3 金融 EDI 情報の入力項目

項番	項目名	入力可能文字の属性および入力範囲
1	業界区分	半角英数字3文字以内
2	データ区分	半角英数字3文字以内
3	支払通知番号	全半角(自由入力)40文字以内
4	支払通知発行日	YYYYMMDD
5	請求書番号(入力推奨)	全半角(自由入力)40文字以内
6	支払人企業法人コード(入力推奨)	半角数字13桁
7	受取人企業法人コード	半角数字13桁
8	請求先企業名	全半角(自由入力)40文字以内
9	請求先企業法人コード	半角数字13桁
10	支払金額(明細)	半角英数字10文字以内
11	金額相殺理由	全半角(自由入力)40文字以内
12	相殺金額	半角英数字10文字以内
13	税額 1	半角英数字10文字以内
14	税率 1	半角数字3桁以内
15	税額 2	半角英数字10文字以内
16	税率 2	半角数字3桁以内
17	税額(合計)	半角英数字10文字以内
18	備考	全半角(自由入力)140文字以内

## メモ

- ・金融 EDI 情報に入力する値は、企業間で取り決めてください。

3. 取引明細情報の追加、編集、および削除

全銀EDIシステム

利用可能時間 8:00~19:00 [マニュアルダウンロード](#) 本サービスのご利用マニュアルはこちらよりダウンロードできます。 [お問い合わせ](#)

簡易XMLファイル作成 総合振込依頼 振込人情報入力

本画面では、入力情報をもとに総合振込に利用するXMLファイルを作成できます。  
※は必須項目です。

■取引日  
取引日(振込指定日) ※  
2017/11/17 (YYYYMMDD)

■振込依頼人情報

振込依頼人コード ※	振込依頼人 名 ※	法人番号(法人マイナンバー)	
1234567890 (半角数字10桁)	アカサキハナヤマ (半角40文字以内)	(半角数字13桁)	
銀行番号 ※	銀行名	支店番号 ※	支店名
1234 (半角数字4桁)	アカサキバンク (半角15文字以内)	123 (半角数字3桁)	(半角15文字以内)
預金種目	口座番号		
▼	(半角数字7桁以内)		

■取引管理情報

グループメッセージID ※注1	支払情報ID ※注2
201711171700001 (半角35文字以内)	201711171700001 (半角35文字以内)

注1 初期値は「作成年月日時分+001」です。変更される場合、作成する総合振込依頼明細ファイルに割当てする任意の番号を入力してください。  
注2 初期値は「作成年月日時分+001」です。変更される場合、支払情報に割当てする任意の番号を入力してください。

■取引明細一覧

項番	削除	取引明細編集	銀行番号	支店番号	預金種目	口座番号	受取人情報	振込金額(円)	全銀EDI情報入力
1	<input checked="" type="checkbox"/>	取引明細編集	1234	123	(普通預金)	1234567	アカサキバンク	100,000	有

②-3

取引明細入力 受取人情報、振込金額、その他取引明細情報、金額EID情報を入力する画面へ移動します。

取引明細削除 チェックした取引明細を一覧から削除します。

②-4

■取引明細合計

合計件数(件)	合計金額(円)
1	100,000

総合振込依頼明細(確認用)ファイルダウンロード 入力された情報を確認するための、総合振込依頼明細(確認用)ファイルをダウンロードします。このファイルは内容確認用のファイルであり、総合振込にはご利用できません。

総合振込依頼明細ファイルダウンロード 総合振込にご利用可能な総合振込依頼明細ファイルをダウンロードします。総合振込にはこちらのファイルをご利用ください。

30分以上操作がない場合、入力された情報は破棄されます。本サービスにご不明な点がある場合には、ご利用の金額機能までお問い合わせください。

①取引明細一覧と取引明細合計に、「(2)操作手順 2.取引明細情報の入力」で入力した情報が反映された状態の振込人情報入力画面が表示されます。当画面で、取引明細情報の追加、編集、および削除ができます。

②-1 取引明細情報の追加、編集、および削除を行わない場合  
「(2)操作手順 4.XML 確認用ファイルのダウンロード」を実施してください。

②-2 取引明細情報を追加する場合  
「(2)操作手順 1.支払情報の入力」の②と、「(2)操作手順 2.取引明細情報の入力」を実施してください。取引明細情報は10件まで入力できます。

②-3 取引明細情報を編集する場合  
「取引明細編集」ボタンをクリックし、「(2)操作手順 2.取引明細情報の入力」を実施してください。

②-4 取引明細情報を削除する場合  
取引明細一覧のチェックボックスにチェックを入れ、「取引明細削除」ボタンをクリックしてください。「取引明細削除」ボタンは、取引明細一覧のチェックボックスにチェックを入れるまでは、グレーアウトされてクリックできません。チェックを入れると、ボタンの色が変わりクリックできるようになります。

表 2.2-4 取引明細一覧の出力情報

項番	項目名	内容
1	受取人情報	—
2	銀行番号(注 1)	取引明細入力画面で入力した「銀行番号」を表示します。
3	支店番号(注 1)	取引明細入力画面で入力した「支店番号」を表示します。
4	預金種目(注 1)	取引明細入力画面で選択した「預金種目」を表示します。
5	口座番号(注 1)	取引明細入力画面で入力した「口座番号」を表示します。
6	受取人名(注 1)	取引明細入力画面で入力した「受取人名」を表示します。
7	振込金額(円) (注 1)	取引明細入力画面で入力した「振込金額」を表示します。
8	金融 EDI 情報入力	取引明細入力画面で金融 EDI 情報を入力した場合に「有」、 入力していない場合に「無」を表示します。

表 2.2-5 取引明細合計の出力情報

項番	項目名	内容
1	合計件数(件) (注 1)	取引明細一覧の件数を表示します。
2	合計金額(円) (注 1)	取引明細一覧の振込金額の合計値を表示します。

(注 1) 全銀協制定レコード・フォーマットの総合振込レコード・フォーマットにおける項目と同等の項目です。

4. XML 確認用ファイルのダウンロード

全銀EDIシステム

利用可能時間 8:00~19:00 [マニュアルダウンロード](#) 本サービスのご利用マニュアルはこちらよりダウンロードできます。 [お問い合わせ](#)

簡易XMLファイル作成\_総合振込依頼\_振込人情報入力

本画面では、入力情報をもとに総合振込に利用するXMLファイルを作成できます。  
※は必須項目です。

■ 取組日

取組日(振込指定日) ※
2017/11/17 (YYYYMMDD)

■ 振込依頼人情報

振込依頼人コード ※	振込依頼人名称 ※	法人番号(法人マイナンバー)
1234567890 (半角数字10桁)	7カブナハマナ	(半角40文字以内)
銀行番号 ※	銀行名	支店番号 ※
1234 (半角数字4桁)	7カブナハマナ	123 (半角数字3桁)
預金種目	口座番号	支店名
1 (半角数字1桁)	(半角数字7桁以内)	(半角15文字以内)

■ 取引管理情報

グループメッセージID ※注1	支払情報ID ※注2
201711171700001 (半角95文字以内)	201711171700001 (半角95文字以内)

注1 初期値は「作成年月日時分+001」です。変更される場合、作成する総合振込依頼明細ファイルに割当てする任意の番号を入力してください。  
注2 初期値は「作成年月日時分+001」です。変更される場合、支払情報に割当てする任意の番号を入力してください。

■ 取引明細一覧

項番	削除	取引明細編集	銀行番号	支店番号	預金種目	受取人情報	受取人名	振込金額(円)	金融ED 情報入力
1	<input type="checkbox"/>	<a href="#">取引明細編集</a>	1234	123	1(普通預金)	1234567	7カブナハマナ	100,000	有

[取引明細入力](#) 受取人情報、振込金額、その他取引明細情報、金融ED情報を入力する画面へ移動します。

[取引明細削除](#) チェックした取引明細を一覧から削除します。

■ 取引明細合計

合計件数(件)	合計金額(円)
1	100,000

① [総合振込依頼明細\(確認用\)ファイルダウンロード](#) 入力された情報を確認するための、総合振込依頼明細(確認用)ファイルをダウンロードします。このファイルは内容確認用のファイルであり、総合振込にはご利用できません。

[総合振込依頼明細ファイルダウンロード](#) 総合振込にご利用可能な総合振込依頼明細ファイルをダウンロードします。総合振込にはこちらのファイルをご利用ください。

※90分以上操作がない場合、入力された情報は破棄されます。本サービスにご不明な点がある場合には、ご利用の金融機関までお問い合わせください。

①「総合振込依頼明細(確認用)ファイルダウンロード」ボタンをクリックしてください。  
ファイル保存ダイアログが表示され、指定したファイル名および選択したファイル形式で保存することができます。

メモ

- 画面から入力された情報を確認するために、XML 確認用ファイルをダウンロードし、保管することを推奨いたします。次頁において説明する「(2)操作手順 5.XML ファイルのダウンロード」を実施することで作成される XML ファイルでは、金融 EDI 情報がシステムで読み取るための形式に変換されるため、入力値を確認することはできません。
- XML 確認用ファイルのファイル名およびファイル形式を指定しない場合、以下のファイル名およびファイル形式で保存します。  
「confirm\_pain-001-001-03\_YYYY(西暦 4 桁)MM(月 2 桁)DD(日 2 桁)hh(時 2 桁)mm(分 2 桁)ss(秒 2 桁).xml」  
(注 1)

(注 1)YYYYMMDDhhmmss はファイルの出力日時になります。

5. XMLファイルのダウンロード

全銀EDIシステム

利用可能時間 8:00~19:00 [マニュアルダウンロード](#) 本サービスのご利用マニュアルはこちらよりダウンロードできます。 [免責事項](#)

簡易XMLファイル作成\_総合振込依頼\_振込人情報入力

本画面では、入力情報をもとに総合振込に利用するXMLファイルを作成できます。  
※は必須項目です。

■取引日  
取引日(振込指定日)※  
2017/11/17 (YYYYMMDD)

■振込依頼人情報

振込依頼人コード※ 1284567890 (半角数字10桁)	振込依頼人名※ アガサキマヤコ (半角40文字以内)	法人番号(法人マイナンバー) (半角数字13桁)	
銀行番号※ 1234 (半角数字4桁)	銀行名 アガサキマヤコ (半角15文字以内)	支店番号※ 123 (半角数字3桁)	支店名 (半角15文字以内)
預金種目 ▼	口座番号 (半角数字7桁以内)		

■取引管理情報

グループメッセージID※注1 201711171700001 (半角85文字以内)	支払情報ID※注2 201711171700001 (半角85文字以内)
--	---

注1 初期値は「作成年月日時分+001」です。変更される場合、作成する総合振込依頼明細ファイルに割当てる任意の番号を入力してください。  
注2 初期値は「作成年月日時分+001」です。変更される場合、支払情報に割当てる任意の番号を入力してください。

■取引明細一覧

順番	削除	取引明細編集	銀行番号	支店番号	預金種目	口座番号	受取人名	振込金額(円)	金融EDI情報入力
1	<input type="checkbox"/>	<a href="#">取引明細編集</a>	1234	123	1(普通預金)	1234567	アガサキマヤコ	100,000	有

[取引明細入力](#) 受取人情報、振込金額、その他取引明細情報、金融EDI情報を入力する画面へ移動します。  
[取引明細削除](#) チェックした取引明細を一覧から削除します。

■取引明細合計

合計件数(件)	合計金額(円)
1	100,000

[総合振込依頼明細\(確認用\)ファイルダウンロード](#) 入力された情報を確認するための、総合振込依頼明細(確認用)ファイルダウンロードします。このファイルは内容確認用のファイルであり、総合振込にはご利用できません。  
[総合振込依頼明細ファイルダウンロード](#) 総合振込にご利用可能な総合振込依頼明細ファイルダウンロードします。総合振込にはこちらのファイルをご利用ください。

30分以上操作がない場合、入力された情報は破棄されます。  
本サービスにご不明な点がある場合には、ご利用の金融機関までお問い合わせください。

①「総合振込依頼明細ファイルダウンロード」ボタンをクリックしてください。  
ファイル保存ダイアログが表示され、指定したファイル名および選択したファイル形式で保存することができます。  
ダウンロードしたXMLファイルは、一括ファイル伝送および外部システム等を通じて全銀EDIシステムに送付することができます。

②-1 XMLファイルを再度新規で作成する場合

「(2)操作手順 1.支払情報の入力」の①から再度実施してください。

②-2 操作を終了する場合

ブラウザの「×」ボタンをクリックしてください。

①

メモ

- XMLファイルのファイル名およびファイル形式を指定しない場合、以下のファイル名およびファイル形式で保存します。  
「pain-001-001-03\_YYYY(西暦4桁)MM(月2桁)DD(日2桁)hh(時2桁)mm(分2桁)ss(秒2桁).xml」(注1)

(注1)YYYYMMDDhhmmss はファイルの出力日時になります。

## 2.2.3 エラー発生時の画面表示

簡易XMLファイル作成機能のウェブサイトアクセス時や操作中にエラーが発生した場合の画面表示説明を以下に示します。

エラーメッセージの内容については「4.2 メッセージ一覧」をご参照ください。

### (1) 入力エラー

入力エラーがあった場合、各画面のメッセージエリアにエラー内容を表示するとともに、操作エリアの該当箇所が赤く反転します。エラー内容をご確認のうえ、再度入力してください。

入力エラー画面を図 2.2-8 に示します。

**全銀EDIシステム**

利用可能時間 8:00~19:00 [マニュアルダウンロード](#) 本サービスのご利用マニュアルはこちらよりダウンロードできます。 [変更事項](#)

簡易XMLファイル作成 総合振込依頼 振込人情報入力

本画面では、入力情報をもとに総合振込に利用するXMLファイルを作成できます。

**取組日には正しい日付を入力してください。【WXSCRT0011060】**  
**振込依頼人コードには10文字で入力してください。【WXSCRT0011020】**  
**振込依頼人名は入力必須項目です。【WXSCRT0011010】**  
**法人番号(法人マイナンバー)(依頼人)には13文字で入力してください。【WXSCRT0011020】**  
**銀行番号(依頼人)には4文字で入力してください。【WXSCRT0011020】**  
**※庄丞(依頼人)は入力必須項目です。【WXSCRT001010】**

※は必須項目です。

■取組日  
 取組日(振込指定日) ※  
 1024/12/24 (YYYYMMDD)

■振込依頼人情報  

振込依頼人コード ※ 10245678901 (半角数字10桁)	振込依頼人名 ※ (半角40文字以内)	法人番号(法人マイナンバー) 12345678901234 (半角数字13桁)
銀行番号 ※ 1 (半角数字4桁)	銀行名 (半角15文字以内)	支店番号 ※ (半角数字3桁)
預金種目 (半角数字7桁以内)	口座番号 (半角数字7桁以内)	

■取引管理情報  

グループメッセージID ※注1 201711301455001 (半角35文字以内)	支払情報ID ※注2 201711301455001 (半角35文字以内)
---	--

注1 初期値は「作成年月日時分+001」です。変更される場合、作成する総合振込依頼明細ファイルに割当てる任意の番号を入力してください。  
 注2 初期値は「作成年月日時分+001」です。変更される場合、支払情報に割当てる任意の番号を入力してください。

■取引明細一覧  
[取引明細入力](#) 受取人情報、振込金額、その他取引明細情報、金融EDD情報を入力する画面へ移動します。  
[取引明細削除](#) チェックした取引明細を一覧から削除します。

■取引明細合計  

合計件数(件)	合計金額(円)
0	0

[総合振込依頼明細\(確認用\)ファイルダウンロード](#) 入力された情報を確認するための、総合振込依頼明細(確認用)ファイルをダウンロードします。このファイルは内容確認用のファイルであり、総合振込にはご利用できません。  
[総合振込依頼明細ファイルダウンロード](#) 総合振込にご利用可能な総合振込依頼明細ファイルをダウンロードします。総合振込にはこちらのファイルをご利用ください。

30分以上操作がない場合、入力された情報は破棄されます。  
 サービスに不明な点がある場合には、ご利用の金融機関までお問い合わせください。

図 2.2-8 入力エラー画面

## (2) セッションタイムアウトエラー

前回のボタン操作から操作のない状態が30分続くと、セッションタイムアウトエラーになります。続けて操作を行う場合、ウィンドウを閉じ、再度アクセスしてください。なお、セッションタイムアウト前に入力したデータは保持されないため、「2.2.2 簡易XMLファイル作成機能操作ガイド (2)操作手順 1.支払情報の入力」の①から再度実施してください。

セッションタイムアウトエラー画面を図 2.2-9 に示します。

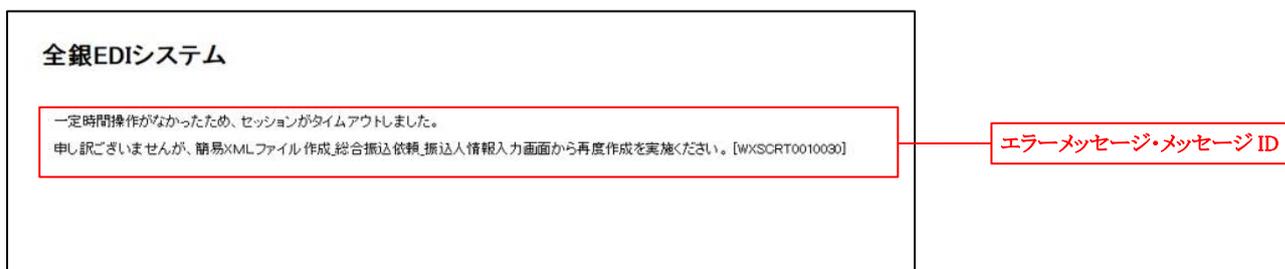


図 2.2-9 セッションタイムアウトエラー画面

## (3) 運用時間外エラー

運用時間帯を超過して操作した場合に、運用時間外エラーとなります。運用時間帯に再度アクセスしてください。運用時間外エラー画面を図 2.2-10 に示します。

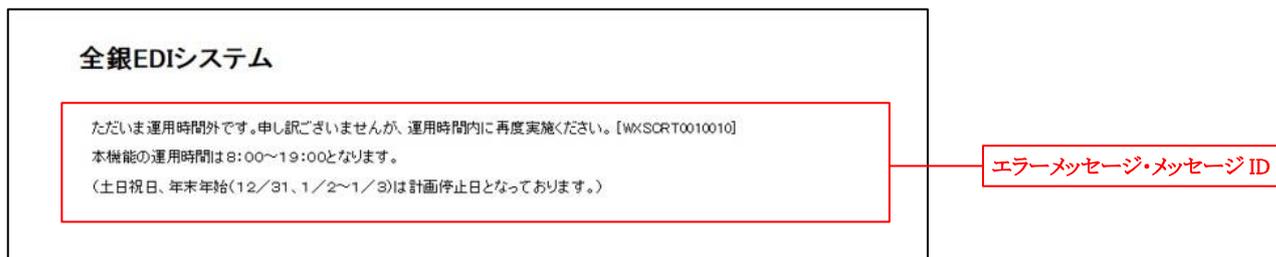


図 2.2-10 運用時間外エラー画面

#### (4) アクセス集中エラー

アクセスが集中し接続不可となった場合に、アクセス集中エラーとなります。しばらく経ってから再度アクセスしてください。

アクセス集中エラー画面を図 2.2-11 に示します。

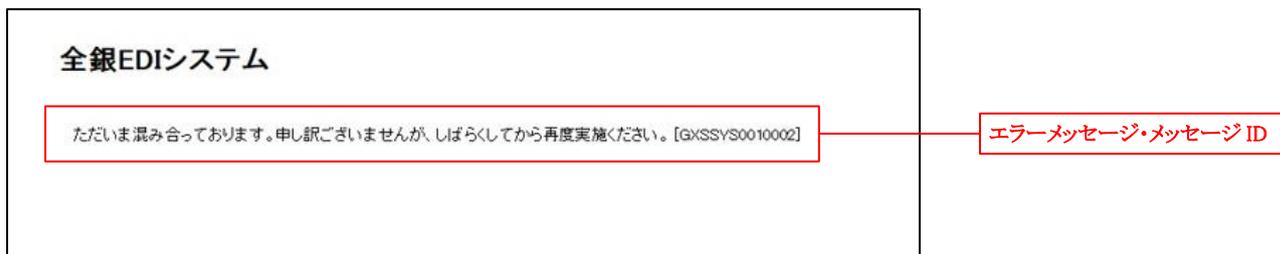


図 2.2-11 アクセス集中エラー画面

#### (5) URL 誤りエラー

取引明細入力画面の URL に直接アクセスした場合に、URL 誤りエラーとなります。ウインドウを閉じ、振込人情報入力画面から再度アクセスしてください。

URL 誤りエラー画面を図 2.2-12 に示します。



図 2.2-12 URL 誤りエラー画面

#### (6) システムメンテナンスエラー

システムメンテナンス中にアクセスおよび操作した場合に、システムメンテナンスエラーとなります。しばらく経ってから再度アクセスしてください。

システムメンテナンスエラー画面を図 2.2-13 に示します。

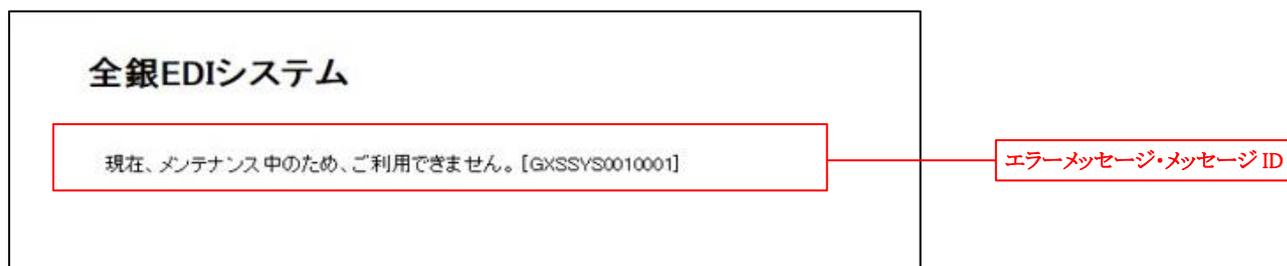


図 2.2-13 システムメンテナンスエラー画面

### (7) システムエラー

アクセスおよび操作中に予期せぬエラーが発生した場合に、システムエラーとなります。しばらく経ってから再度アクセスしてください。エラーとなる前に入力したデータは保持されません。「2.2.2 簡易 XML ファイル作成機能操作ガイド (2)操作手順 1.支払情報の入力」の①から再度実施してください。

システムエラー画面を図 2.2-14 に示します。

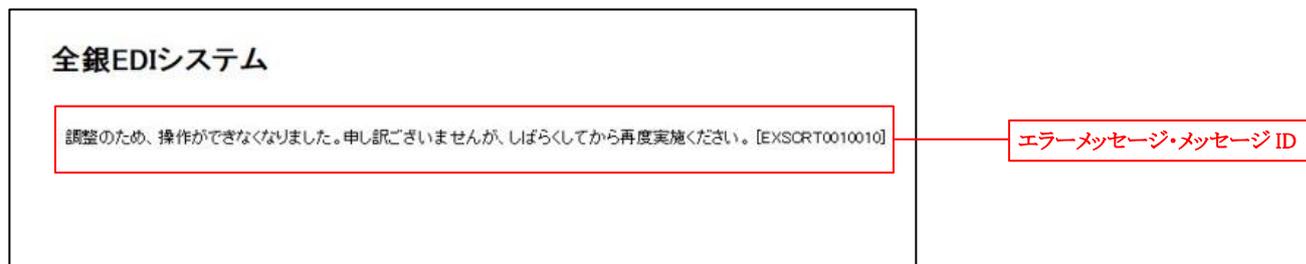


図 2.2-14 システムエラー画面

## 第3章 留意事項

## 3.1 サービス内容と画面操作に関する留意事項

簡易 XML ファイル作成機能をご利用に当たっての、サービス内容と画面操作に関する留意事項を以下に示します。

### (1) サービス内容に関する留意事項

#### ① 利用者認証について

簡易 XML ファイル作成機能はどなたでもご利用いただけるサービスです。ご利用にあたっての利用者登録およびログイン認証はございません。

#### ② 操作中に運用時間を過ぎた場合について

操作中に運用時間帯を過ぎてしまった場合、何らかのボタンを操作した時点で運用時間外のエラーとなり、XML ファイルの作成を継続できません。ご利用いただく際は、情報の入力にかかる時間に余裕をもってご利用ください。

#### ③ 作成するファイルの支払情報について

簡易 XML ファイル作成機能では、複数の支払情報を指定したファイルには対応しておりません。支払情報ごとにファイルを作成してください。

#### ④ 作成した XML ファイルの内容の妥当性について

簡易 XML ファイル作成機能では、入力情報に対して pain.001.001.003 形式に変換するために必要な形式や桁数のチェックは実施しますが、各種口座情報の整合性や取組日(振込指定日)の妥当性は確認しておりません。ご自身で内容の妥当性をご確認のうえ、XML ファイルを作成してください。作成するファイルの内容をご確認する際は、XML 確認用ファイルをご利用ください。

#### ⑤ システムでのデータ保管について

簡易 XML ファイル作成機能では、入力したデータについてシステムでの保管はいたしません。

#### ⑥ XML ファイルの金融 EDI 情報をご自身で作成する場合について

当サービスで適用する標準的な金融 EDI 情報を利用せず、独自の金融 EDI 情報を設定した XML ファイルを作成する場合は、取引明細入力画面で金融 EDI 情報欄への入力を行わずに XML ファイルをダウンロードしてください。金融 EDI 情報が設定されていない XML ファイルが作成されますので、独自の金融 EDI 情報をテキストエディタ等で設定してください。独自の金融 EDI 情報の設定イメージを図 3.1-1 に示します。

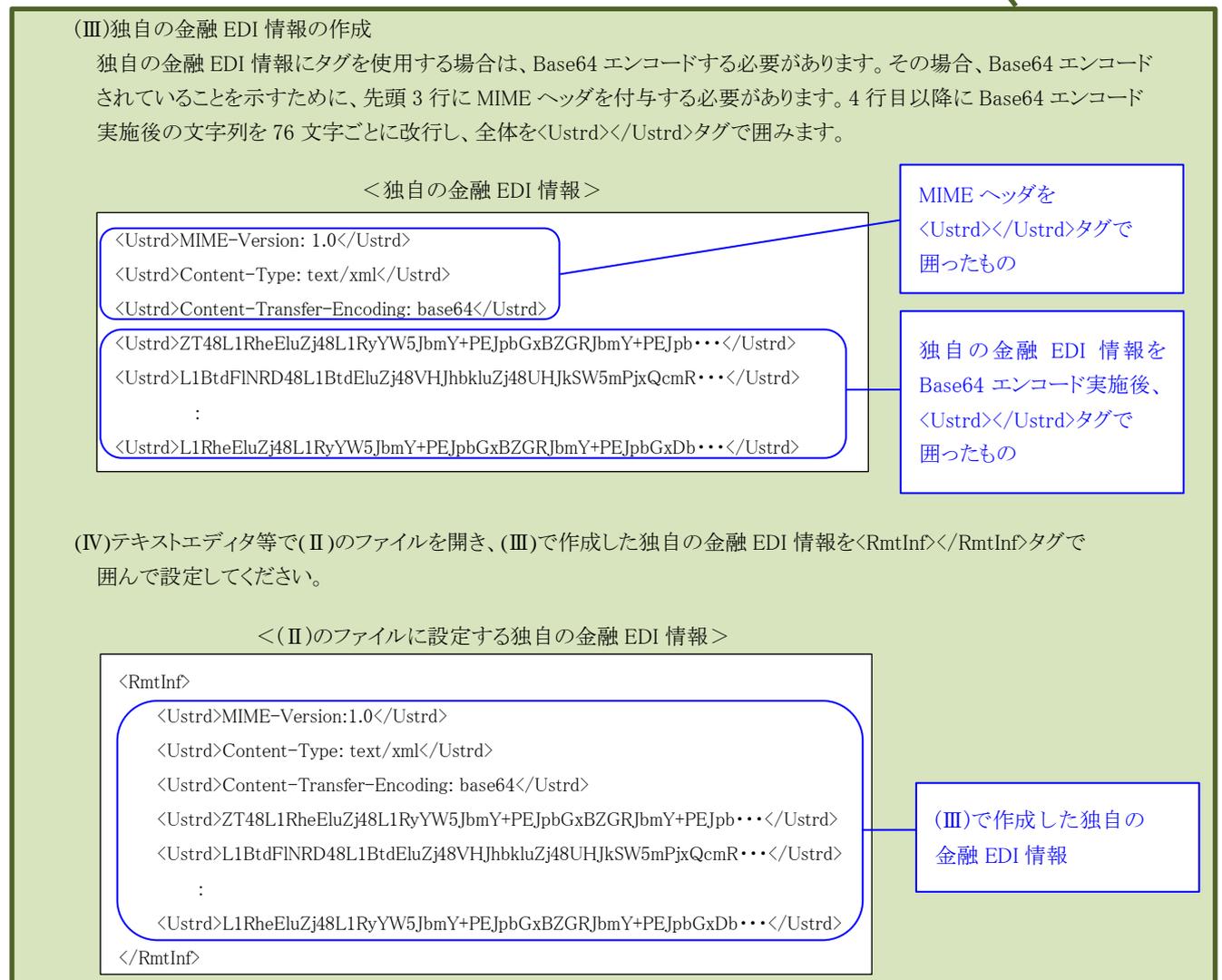
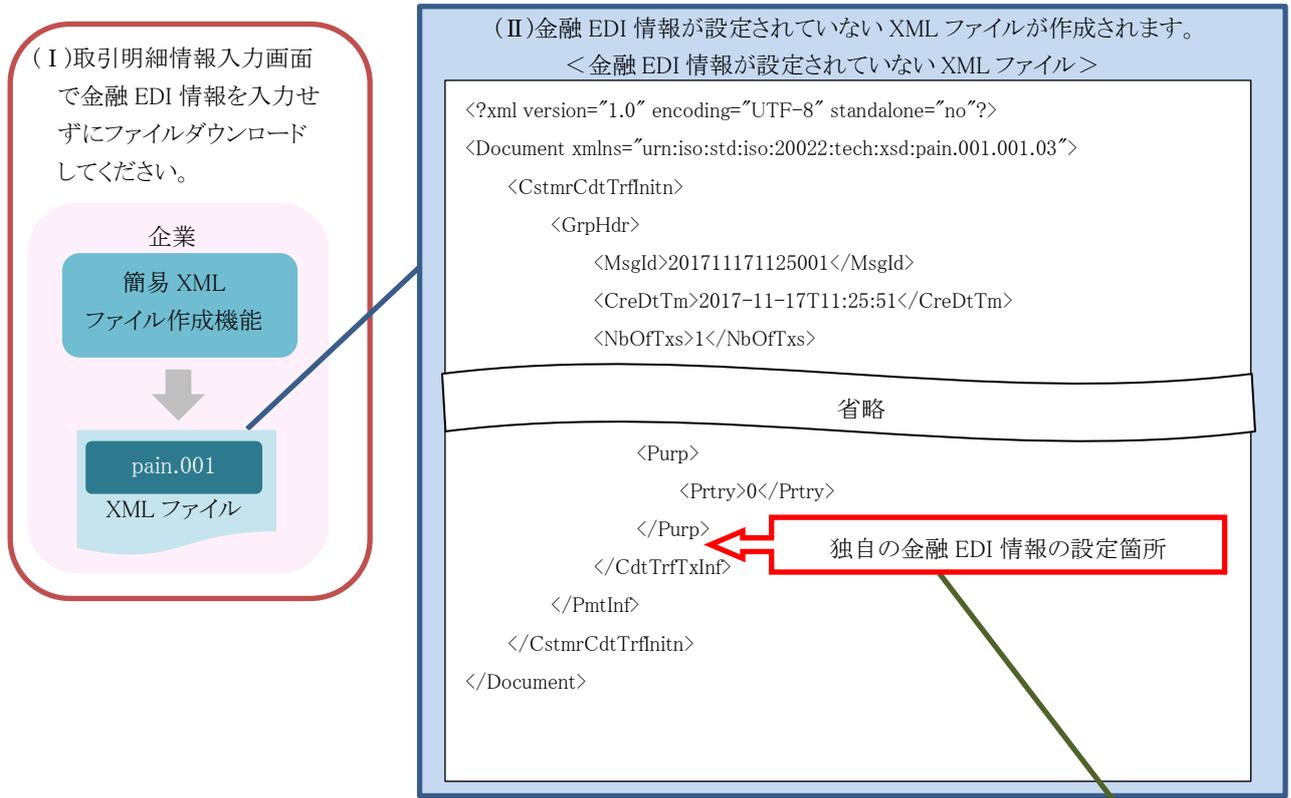


図 3.1-1 独自の金融 EDI 情報設定イメージ

## (2) 画面操作に関する留意事項

### ① セッションタイムアウトの延長について

前回のボタン操作から 20 分経過した時点で、セッションタイムアウト時間の延長を促すダイアログを表示します。延長したい場合は、ダイアログの「OK」ボタンをクリックすると、セッションタイムアウト時間が 30 分延長されます。セッションタイムアウト時間の延長を促すダイアログを図 3.1-2 に示します。

なお、セッションタイムアウトエラーになってしまった場合、何らかのボタンを操作した時点で、セッションタイムアウトエラーとなり、XML ファイルの作成を継続できません。また、セッションタイムアウト前に入力したデータは保持されないため、「2.2.2 簡易 XML ファイル作成機能操作ガイド (2)操作手順 1.支払情報の入力」の①から再度実施する必要があります。そのため、セッションタイムアウト時間の延長を促すダイアログが表示された場合は、延長することを推奨いたします。

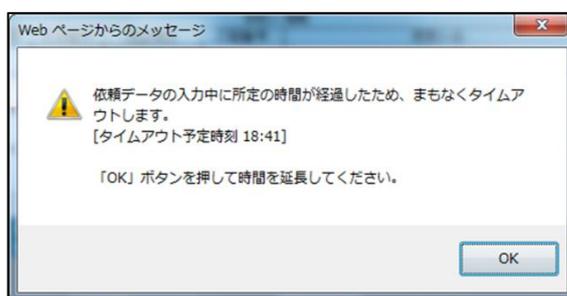


図 3.1-2 セッションタイムアウト延長ダイアログ

### ② ブラウザの遷移および更新機能について

ブラウザの「戻る」ボタン、「進む」ボタン、および「最新の情報に更新(R)」機能は、使用しないでください。また、キーボードの「F5」キーについても使用しないでください。使用した場合の動作保証はいたしかねます。

### ③ URL のブックマークについて

振込人情報入力画面以外の URL はブックマークしないでください。振込人情報入力画面以外の URL をブックマークし、当該ブックマークからアクセスした場合、URL 誤りエラーとなります。

## 3.2 セキュリティに関する留意事項

簡易 XML ファイル作成機能をご利用に当たっての、セキュリティに関する留意事項を以下に示します。

### (1) フィッシング詐欺対策について

「フィッシング詐欺」と呼ばれる手法により、偽の画面（本サービスの真正なウェブサイトではない画面）を通じて利用者のウェブサイトへの入力情報を不正に取得する手口が存在します。本サービスではフィッシング詐欺対策として、EV SSL 証明書によりウェブサイトの正当性を確認可能としています。

EV SSL 証明書は、本サービスの URL にアクセスした際に表示される、ブラウザのアドレスバーが緑色となること、鍵マークと共に、ウェブサイトを運営する企業名が表示されていることにより確認できます。アドレスバーの表示イメージについて、図 3.2-1 に示します。



図 3.2-1 EV SSL 証明書のアドレスバー表示イメージ

## 第4章 付録

## 4.1 簡易 XML ファイル作成機能で入力可能な文字

簡易 XML ファイル作成機能の操作画面で入力する項目の文字の種類および桁数の指定は、画面に表示されません。画面表示にしたがってご入力ください。

一部項目については、画面表示内容に加えて入力可能な文字の指定がございます。以下に、項目ごとの入力可能文字を示します。

### (1) 人名に入力可能な文字

振込依頼人および受取人に入力可能な文字を表 4.1-1 に示します。

表 4.1-1 人名に入力可能な文字

属性	文字一覧
数字	0123456789
英字	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
カナ文字	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワン
濁点半濁点	〃
記号	()-.
スペース	半角スペース

### (2) 銀行名、識別表示、およびダミーに入力可能な文字

銀行名、識別表示、ダミー(ヘッダー)、およびダミー(データ)に入力可能な文字を表 4.1-2 に示します。

表 4.1-2 銀行名、識別表示、およびダミーに入力可能な文字

属性	文字一覧
数字	0123456789
英字	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
カナ文字	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワン
濁点半濁点	〃
記号	¥「」()-/.,+?:'
スペース	半角スペース

**(3) 支店名に入力可能な文字**

仕向銀行支店名および被仕向銀行支店名に入力可能な文字を表 4.1-3 に示します。

表 4.1-3 支店名に入力可能な文字

属性	文字一覧
数字	0123456789
英字	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
カナ文字	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤヨラリルレロワン
濁点半濁点	°
記号	-
スペース	半角スペース

**(4) 各種 ID および取引明細識別番号に入力可能な文字**

グループメッセージ ID、支払情報 ID、および取引明細識別番号に入力可能な文字を表 4.1-4 に示します。

表 4.1-4 各種 ID および取引明細識別番号に入力可能な文字

属性	文字一覧
数字	0123456789
英字	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
スペース	半角スペース

**(5) 顧客コードに入力可能な文字**

顧客コード 1 および顧客コード 2 に入力可能な文字を表 4.1-5 に示します。

表 4.1-5 顧客コードに入力可能な文字

属性	文字一覧
数字	0123456789
英字	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
カナ文字	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤヨラリルレロワン
濁点半濁点	°
記号	¥「」()-/.
スペース	半角スペース

## 4.2 メッセージ一覧

簡易 XML ファイル作成機能で出力するメッセージを表 4.2-1 に示します。

表 4.2-1 メッセージ一覧(1/2)

項番	メッセージ ID	メッセージ	説明	対処
1	WXSCRT0010010	ただいま運用時間外です。申し訳ございませんが、運用時間内に再度実施ください。	運用時間外、もしくは定期休止日にアクセスした場合に表示します。	営業日の 8:00～19:00 に再度アクセスしてください。
2	WXSCRT0010030	一定時間操作がなかったため、セッションがタイムアウトしました。 申し訳ございませんが、簡易 XML ファイル作成_総合振込依頼_振込人情報入力画面から再度作成を実施ください。	30 分間ボタンの操作がなくセッションタイムアウトとなった場合に表示します。	振込人情報入力画面から再度操作してください。
3	GXSSYS0010001	現在、メンテナンス中のため、ご利用できません。	システムメンテナンス中にアクセスした場合に表示します。	しばらく経ってから再度アクセスしてください。
4	GXSSYS0010002	ただいま混み合っております。申し訳ございませんが、しばらくしてから再度実施ください。	簡易 XML ファイル作成機能のウェブサイトへのアクセスが集中したために接続不可となった場合に表示します。	しばらく経ってから再度アクセスしてください。
5	GXSSYS0010003	ご指定のページは表示できません。 ご指定の URL は存在しないか、表示を許可されていません。	取引明細入力画面の URL に直接アクセスした場合に表示します。	振込人情報入力画面から操作してください。
6	WXSCRT0011010	{0}は入力必須項目です。	入力必須項目が入力されていない場合に表示します。 {0}には項目名を表示します。	対象の項目を入力してください。
7	WXSCRT0011020	{0}には{1}文字で入力してください。	入力した文字数が誤っている場合に表示します。 {0}には項目名、{1}には最大文字数を表示します。	指定された文字数で入力してください。
8	WXSCRT0011030	{0}の入力形式が間違っています。(詳細はマニュアルをご覧ください)	対象項目に使用できない文字を入力した場合に表示します。 {0}には項目名を表示します。	マニュアルの「4.1 簡易 XML ファイル作成機能で入力可能な文字」で入力可能な文字をご確認のうえ入力してください。

表 4.2-1 メッセージ一覧(2/2)

項番	メッセージ ID	メッセージ	説明	対処
9	WXSCRT0011040	{0}には{1}から{2}までの範囲で入力してください。	入力した桁数が正しくない場合に表示します。 {0}には項目名、{1}には最小文字数、{2}には最大文字数を表示します。	指定された範囲の桁数で入力してください。
10	WXSCRT0011050	{0}には数字を入力してください。(詳細はマニュアルをご覧ください)	対象項目に半角数字以外を入力した場合に表示します。 {0}には項目名を表示します。	半角数字を入力してください。
11	WXSCRT0011060	{0}には正しい日付を入力してください。	日付の入力形式が正しくない場合に表示します。 {0}には項目名を表示します。	YYYY(西暦 4 桁)MM(月 2 桁)DD(日 2 桁)形式で入力してください。
12	WXSCRT0011070	{0}には{1}文字以下で入力してください。	入力値が指定の文字数を超過している場合に表示します。 {0}には項目名、{1}には最大文字数を表示します。	指定された文字数以下で入力してください。
13	WXSCRT0011080	{0}には半角英数字で入力してください。(詳細はマニュアルをご覧ください)	半角英数字で入力していない場合に表示します。 {0}には項目名を表示します。	半角英数字で入力してください。
14	WXSCRT0011090	{0}には{1}文字以上で入力してください。	入力値が指定の文字数に満たない場合に表示します。 {0}には項目名、{1}には最小文字数を表示します。	指定された文字数以上で入力してください。
15	WXSCRT0012010	金融 EDI 情報 1～10 に設定されている情報量が、規定されている情報量より多いため、削減して下さい。	金融 EDI 情報が多すぎる場合に表示します。	金融 EDI 情報を削減してください。
16	EXSCRT0010010	調整のため、操作ができなくなりました。申し訳ございませんが、しばらくしてから再度実施ください。	システムエラーが発生した場合に表示します。	しばらく経ってから再度アクセスしてください。
17	EXSCRT0012010	システムエラーが発生しました。	システムエラーが発生した場合に表示します。	しばらく経ってから再度アクセスしてください。

## 4.3 簡易 XML ファイル作成機能の出力ファイル

簡易 XML ファイル作成機能で出力するファイルについて以下に示します。

### 4.3.1 ファイル一覧

出力するファイル一覧を表 4.3-1 に示します。

表 4.3-1 ファイル一覧

項番	機能名	ファイル名	概要
1	簡易 XML ファイル作成機能	総合振込依頼明細ファイル	全銀 EDI システムで利用可能な ISO20022 の pain.001.001.03 に準拠した XML ファイルです。金融 EDI 情報を Base64 エンコードした状態で出力します。
2		総合振込依頼明細(確認用)ファイル	入力した入力情報の確認用ファイルです。金融 EDI 情報を Base64 エンコードせずに出力します。項番 1 との相違点は、金融 EDI 情報の Base64 エンコード実施の有無のみとなります。

### 4.3.2 ファイル仕様の基本事項

出力するファイルの設定項目について、表 4.3-2 に示します。

表 4.3-2 設定項目

項番	項目	説明
1	XML タグ	英数字記号で記載する物理的な XML のタグの名称を示します。
2	論理名	日本語で記載する論理的な XML のタグの名称を示します。
3	繰返	XML タグの出現頻度を示します。以下に例を示します。 ・[0..1] :XML タグがない、または 1 つであることを示します。 ・[0..n] :XML タグがない、または 1 つ以上であることを示します。 ・[1..1] :XML タグが必ず 1 つであることを示します。 ・[1..n] :XML タグが 1 つ以上であることを示します。
4	設定元	XML タグの値の設定元を示します。以下に例を示します。 タグのみの場合は“-”です。 ・画面:画面で入力した値を設定することを示します。 ・システム:システムで自動設定することを示します。
5	設定内容	XML タグへの設定内容を示します。
6	備考	設定内容についての補足がある場合、補足内容を示します。

## 4.3.3 ファイル仕様

出力する各ファイルの仕様について以下に示します。

## (1) 総合振込依頼明細ファイル

全銀 EDI システムで利用可能な ISO20022 の pain.001.001.03 に準拠した XML ファイルです。取引明細単位に指定した金融 EDI 情報を Base64 エンコードして出力します。ファイル仕様を表 4.3-3 に示します。表には、ISO20022 で規定する必須タグ、固定長ファイルの項目がマッピングされるタグ、および全銀 EDI システムで使用するタグについてのみ記載します。

表 4.3-3 総合振込依頼明細ファイル(1/8)

項番	XMLタグ	論理名	繰返	設定元	設定内容	備考
1	<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>	XML宣言	-	-	-	-
2	<Document xmlns="urn:iso:std:iso:20022:tech:xsd:pain.001.001.03">	XMLドキュメントルート	[1..1]	-	-	-
3	<CstmrCdtTrfIntr>	総合振込依頼ルート	[1..1]	-	-	-
4	<GrpHdr>	グループヘッダ情報	[1..1]	-	-	-
5	<MsgId>	グループメッセージID	[1..1]	画面	振込人情報入力画面のグループメッセージIDを設定します。	-
6	<CreDtTm>	XMLファイル作成日時	[1..1]	システム	現在日時(「総合振込依頼明細(確認用)ファイルダウンロード」ボタンまたは「総合振込依頼明細ファイルダウンロード」ボタン押下時)を設定します。	YYYY-MM-DDThh:mm:ss形式となります。
7	<NbOfTx>	支払情報数	[1..1]	システム	"1"を設定します。	-
8	<InitgPty>	開始集団	[1..1]	-	空タグ	-
9	<PmtInf>	支払情報	[1..1]	-	-	-
10	<PmtInfId>	支払情報ID	[1..1]	画面	振込人情報入力画面の支払情報IDを設定します。	-

表 4.3-3 総合振込依頼明細ファイル(2/8)

項番	XMLタグ	論理名	繰返	設定元	設定内容	備考
11	<PmtMtd>	支払方法	[1..1]	システム	“TRF”を設定します。	-
12	<NbOfTxs>	合計件数	[1..1]	画面	振込人情報入力画面の合計件数を設定します。	-
13	<CtrlSum>	合計金額	[1..1]	画面	振込人情報入力画面の合計金額を設定します。	カンマなし形式となります。
14	<PmtTplnf>	支払種別情報	[1..1]	-	-	-
15	<CtgyPurp>	種別情報	[1..1]	-	-	-
16	<Cd>	種別コード	[1..1]	システム	“OTHR”を設定します。	-
17	<ReqdExctnDt>	取組日	[1..1]	画面	振込人情報入力画面の取組日(振込指定日)を設定します。	YYYY-MM-DD形式となります。
18	<Dbtr>	振込依頼人情報	[1..1]	-	-	-
19	<Id>	振込依頼人識別情報	[1..1]	-	-	-
20	<OrgId>	振込依頼人組織識別情報	[1..1]	-	-	-
21	<Othr>	振込依頼人組織識別詳細情報	[1..1]	-	-	-
22	<Id>	振込依頼人コード (取引企業コード)	[1..1]	画面	振込人情報入力画面の振込依頼人コードを設定します。	-
23	<SchmeNm>	振込依頼人概要情報	[1..1]	-	-	-
24	<Cd>	振込依頼人概要コード	[1..1]	システム	“BANK”を設定します。	本<Othr>タグが振込依頼人組織識別詳細情報であると識別するための値です。
25	<Othr>	振込依頼人法人番号 (法人マイナンバー)情報	[0..1]	-	-	-

表 4.3-3 総合振込依頼明細ファイル(3/8)

項番	XMLタグ	論理名	繰返	設定元	設定内容	備考
26	<Id>	振込依頼人法人番号 (法人マイナンバー)	[1..1]	画面	振込人情報入力画面の法人番号 (法人マイナンバー)(依頼人)の入力値が設定されて いる場合、法人番号(法人マイナンバー)を設定 します。  振込人情報入力画面の法人番号 (法人マイナンバー)(依頼人)の入力値が未設定の 場合、項番25<Othr>から項番28<Cd>のタグを 設定しません。	-
27	<SchmeNm>	振込依頼人法人番号 (法人マイナンバー)概要情報	[1..1]	-	-	-
28	<Cd>	振込依頼人法人番号 (法人マイナンバー)概要コード	[1..1]	システム	振込人情報入力画面の法人番号 (法人マイナンバー)(依頼人)の入力値が設定されて いる場合、“TXID”を設定します。  振込人情報入力画面の法人番号 (法人マイナンバー)(依頼人)の入力値が未設定の 場合、項番25<Othr>から項番28<Cd>のタグを 設定しません。	本<Othr>タグが振込依頼人法人 番号(法人マイナンバー)情報で あると識別するための値です。
29	<DbtrAcct>	振込依頼人口座情報	[1..1]	-	-	-
30	<Id>	振込依頼人口座識別情報	[1..1]	-	-	-
31	<Othr>	振込依頼人口座識別詳細情報	[1..1]	-	-	-
32	<Id>	振込依頼人口座番号	[1..1]	画面	振込人情報入力画面の口座番号(依頼人)を7桁まで 先頭0埋めした値を設定します。(注1)  (注1) 振込人情報入力画面の口座番号(依頼人)が 未設定の場合、7桁まで半角スペースを設定します。	-
33	<Tp>	振込依頼人預金種目情報	[0..1]	-	-	-
34	<Prtry>	振込依頼人預金種目	[1..1]	画面	振込人情報入力画面の預金種目(依頼人)を 設定します。	-
35	<DbtrAgt>	仕向金融機関情報	[1..1]	-	-	-
36	<FinInstnId>	仕向金融機関識別情報	[1..1]	-	-	-

表 4.3-3 総合振込依頼明細ファイル(4/8)

項番	XMLタグ	論理名	繰返	設定元	設定内容	備考
37	<ClrSysMmbld>	仕向決済システム識別情報	[1..1]	-	-	-
38	<ClrSysId>	仕向決済システム 識別詳細情報	[1..1]	-	-	-
39	<Cd>	仕向決済システム識別コード	[1..1]	システム	“JPZGN”を設定します。	-
40	<Mmbld>	仕向銀行番号	[1..1]	画面	振込情報入力画面の銀行番号(依頼人)を設定します。	-
41	<Nm>	仕向銀行名	[0..1]	画面	振込情報入力画面の銀行名(依頼人)の入力値が設定されている場合、銀行名を設定します。  振込情報入力画面の銀行名(依頼人)の入力値が未設定の場合、タグを設定しません。	-
42	<BrnchId>	仕向支店情報	[1..1]	-	-	-
43	<Id>	仕向支店番号	[1..1]	画面	振込情報入力画面の支店番号(依頼人)を設定します。	-
44	<Nm>	仕向支店名	[0..1]	画面	振込情報入力画面の支店名(依頼人)の入力値が設定されている場合、支店名を設定します。  振込情報入力画面の支店名(依頼人)の入力値が未設定の場合、タグを設定しません。	-
45	<UltmtDbtr>	振込依頼人情報	[1..1]	-	-	-
46	<Nm>	振込依頼人名	[1..1]	画面	振込情報入力画面の振込依頼人名を設定します。	-
47	<CdtTrfTxInf>	取引明細	[1..10]	-	-	-
48	<PmtId>	支払識別情報	[1..1]	-	-	-
49	<EndToEndId>	取引明細識別番号 (振込依頼人発行)	[1..1]	画面	取引明細入力画面の取引明細識別番号を設定します。	-
50	<Amt>	振込金額情報	[1..1]	-	-	-

表 4.3-3 総合振込依頼明細ファイル(5/8)

項番	XMLタグ	論理名	繰返	設定元	設定内容	備考
51	<InstdAmt Ccy="JPY">	振込金額	[1..1]	画面	取引明細入力画面の振込金額を設定します。	カンマなし形式となります。
52	<CdtrAgt>	被仕向金融機関情報	[1..1]	-	-	-
53	<FinInstnId>	被仕向金融機関識別情報	[1..1]	-	-	-
54	<ClrSysMmbld>	被仕向決済システム識別情報	[1..1]	-	-	-
55	<Mmbld>	被仕向銀行番号	[1..1]	画面	取引明細入力画面の銀行番号を設定します。	-
56	<Nm>	被仕向銀行名	[0..1]	画面	取引明細入力画面の銀行名の入力値が設定されている場合、銀行名を設定します。 取引明細入力画面の銀行名の入力値が未設定の場合、タグを設定しません。	-
57	<Othr>	手形交換所番号情報	[0..1]	-	-	-
58	<Id>	手形交換所番号	[1..1]	画面	取引明細入力画面の手形交換所番号の入力値が設定されている場合、手形交換所番号を設定します。 取引明細入力画面の手形交換所番号の入力値が設定されていない場合、 項番57<Othr>から項番58<Id>のタグを設定しません。	-
59	<BrnchId>	被仕向支店情報	[1..1]	-	-	-
60	<Id>	被仕向支店番号	[1..1]	画面	取引明細入力画面の支店番号を設定します。	-
61	<Nm>	被仕向支店名	[0..1]	画面	取引明細入力画面の支店名の入力値が設定されている場合、支店名を設定します。 取引明細入力画面の支店名の入力値が未設定の場合、タグを設定しません。	-
62	<Cdtr>	受取人情報	[1..1]	-	-	-
63	<Nm>	受取人名	[1..1]	画面	取引明細入力画面の受取人名を設定します。	-

表 4.3-3 総合振込依頼明細ファイル(6/8)

項番	XMLタグ	論理名	繰返	設定元	設定内容	備考
64	<Id>	受取人識別情報	[0..1]	-	-	-
65	<OrgId>	受取人組織情報	[1..1]	-	-	-
66	<Othr>	受取人法人番号 (法人マイナンバー)情報	[0..1]	-	-	-
67	<Id>	受取人法人番号 (法人マイナンバー)	[1..1]	画面	取引明細入力画面の法人番号(法人マイナンバー)の入力値が設定されている場合、 法人番号(法人マイナンバー)を設定します。  取引明細入力画面の法人番号(法人マイナンバー)の入力値が未設定の場合、 項番66<Othr>から項番69<Cd>のタグを設定しません。	-
68	<SchmeNm>	受取人法人番号 (法人マイナンバー)概要情報	[1..1]	-	-	-
69	<Cd>	受取人法人番号 (法人マイナンバー)概要コード	[1..1]	システム	取引明細入力画面の法人番号(法人マイナンバー)の入力値が設定されている場合、“TXID”を設定します。  取引明細入力画面の法人番号(法人マイナンバー)の入力値が未設定の場合、 項番66<Othr>から項番69<Cd>のタグを設定しません。	本<Othr>タグが受取人法人番号 (法人マイナンバー)情報であると識別するための値です。
70	<Othr>	顧客コード1情報	[0..1]	-	-	-
71	<Id>	顧客コード1	[1..1]	画面	取引明細入力画面の顧客コード1の入力値が設定されている場合、顧客コード1を設定します。  取引明細入力画面の顧客コード1の入力値が設定されていない場合、 項番70<Othr>から項番73<Prtry>のタグを設定しません。	-
72	<SchmeNm>	顧客コード1概要情報	[1..1]	-	-	-

表 4.3-3 総合振込依頼明細ファイル(7/8)

項番	XMLタグ	論理名	繰返	設定元	設定内容	備考
73	<Prtry>	顧客コード1概要名	[1..1]	システム	取引明細入力画面の顧客コード1の入力値が設定されている場合、 “Customer Code1”を設定します。  取引明細入力画面の顧客コード1の入力値が設定されていない場合、 項番70<Othr>から項番73<Prtry>のタグを設定しません。	本<Othr>タグが顧客コード1情報であると識別するための値です。
74	<Othr>	顧客コード2情報	[0..1]	-	-	-
75	<Id>	顧客コード2	[1..1]	画面	取引明細入力画面の顧客コード2の入力値が設定されている場合、顧客コード2を設定します。  取引明細入力画面の顧客コード2の入力値が未設定の場合、項番74<Othr>から項番77<Prtry>のタグを設定しません。	-
76	<SchmeNm>	顧客コード2概要情報	[1..1]	-	-	-
77	<Prtry>	顧客コード2概要名	[1..1]	システム	取引明細入力画面の顧客コード2の入力値が設定されている場合、 “Customer Code2”を設定します。  取引明細入力画面の顧客コード2の入力値が未設定の場合、項番74<Othr>から項番77<Prtry>のタグを設定しません。	本<Othr>タグが顧客コード2情報であると識別するための値です。
78	<CdtrAcct>	受取人口座情報	[1..1]	-	-	-
79	<Id>	受取人口座識別情報	[1..1]	-	-	-
80	<Othr>	受取人口座識別詳細情報	[1..1]	-	-	-
81	<Id>	受取人口座番号	[1..1]	画面	取引明細入力画面の口座番号を7桁まで先頭0埋めした値を設定します。	-
82	<Tp>	受取人預金種目情報	[1..1]	-	-	-
83	<Prtry>	受取人預金種目	[1..1]	画面	取引明細入力画面の預金種目を設定します。	-

表 4.3-3 総合振込依頼明細ファイル(8/8)

項番	XMLタグ	論理名	繰返	設定元	設定内容	備考
84	<InstrForCdtrAgt>	振込指定区分情報	[0..1]	-	-	-
85	<InstrInf>	振込指定区分	[0..1]	画面	取引明細入力画面の振込指定区分の入力値が設定されている場合、振込指定区分を設定します。  取引明細入力画面の振込指定区分の入力値が未設定の場合、項番84<InstrForCdtrAgt>から項番85<InstrInf>のタグを設定しません。	-
86	<InstrForDbtrAgt>	識別表示および仕向金融機関指示情報	[0..1]	画面	取引明細入力画面の識別表示（注1） + “:”+取引明細入力画面のダミー（データ）（注2） + “:”+取引明細入力画面のダミー（ヘッダー）（注3）  を設定します。  （注1）未設定の場合、半角スペースを設定します。 （注2）7桁まで末尾半角スペース埋めます。未設定の場合、7桁まで半角スペースを設定します。 （注3）17桁まで末尾半角スペース埋めます。未設定の場合、17桁まで半角スペースを設定します。	-
87	<Purp>	新規コード情報	[1..1]	-	-	-
88	<Prtry>	新規コード	[1..1]	画面	取引明細入力画面の新規コードを設定します。	-
89	<RmtInf>	商流情報	[0..1]	-	-	-
90	<Ustrd>	金融EDI情報	[0..n]	-	取引明細入力画面の金融EDI情報1～10の項目をXMLタグ形式化し、その情報をBase64エンコードした値を設定します。なお、Base64エンコードを実施していることを示すため、先頭の3行はMIMEヘッダ情報を付加します。  取引明細入力画面の金融EDI情報1～10の入力値がない場合、項番89<RmtInf>から項番90<Ustrd>のタグを設定しません。	-

(2) 総合振込依頼明細(確認用)ファイル

入力した入力情報の確認用ファイルです。取引明細単位に指定した金融 EDI 情報を Base64 エンコードせずに出力します。当ファイルの設定内容は、金融 EDI 情報設定部分を除いて「(1) 総合振込依頼明細ファイル」と同じです。基本的なファイル仕様については、表 4.3-3 をご参照ください。金融 EDI 情報設定部分のファイル仕様については、表 4.3-4 に示します。表には、ISO20022 で規定する必須タグ、固定長ファイルの項目がマッピングされるタグ、および全銀 EDI システムで使用するタグについてのみ記載します。

表 4.3-4 総合振込依頼明細(確認用)ファイルの金融 EDI 情報設定内容

項番	XMLタグ	論理名	繰返	設定元	設定内容	備考
90	<Ustrd>	金融EDI情報	[0..1]	-	取引明細入力画面の金融EDI情報1~10の各項目をタグ形式で出力します。  取引明細入力画面の金融EDI情報1~10の入力がない場合、項番89<RmtInf>から項番110のタグを設定しません。	-
91	<EDInf1>	金融EDI情報1	[0..1]	-	(注1) 金融EDI情報項目は、1~10回まで繰り返し設定できます。 金融EDI情報項目の設定内容については、表4.3-5をご参照ください。	-
92	(注1)	金融EDI情報1項目	[0..n]	-		-
93	<EDInf2>	金融EDI情報2	[0..1]	-		-
94	(注1)	金融EDI情報2項目	[0..n]	-		-
95	<EDInf3>	金融EDI情報3	[0..1]	-		-
96	(注1)	金融EDI情報3項目	[0..n]	-		-
97	<EDInf4>	金融EDI情報4	[0..1]	-		-
98	(注1)	金融EDI情報4項目	[0..n]	-		-
99	<EDInf5>	金融EDI情報5	[0..1]	-		-
100	(注1)	金融EDI情報5項目	[0..n]	-		-
101	<EDInf6>	金融EDI情報6	[0..1]	-	-	
102	(注1)	金融EDI情報6項目	[0..n]	-	-	
103	<EDInf7>	金融EDI情報7	[0..1]	-	-	
104	(注1)	金融EDI情報7項目	[0..n]	-	-	
105	<EDInf8>	金融EDI情報8	[0..1]	-	-	
106	(注1)	金融EDI情報8項目	[0..n]	-	-	
107	<EDInf9>	金融EDI情報9	[0..1]	-	-	
108	(注1)	金融EDI情報9項目	[0..n]	-	-	
109	<EDInf10>	金融EDI情報10	[0..1]	-	-	
110	(注1)	金融EDI情報10項目	[0..n]	-	-	

表 4.3-5 金融 EDI 情報項目(1/2)

項番	XMLタグ	論理名	繰返	設定元	設定内容	備考
1	<SubsetSpecifiedID>	業界区分	[0..1]	画面	取引明細入力画面の業界区分を設定します。	-
2	<BusinessProcessSpecifiedID>	データ区分	[0..1]	画面	取引明細入力画面のデータ区分を設定します。	-
3	<ExchangedDocumentID>	支払通知番号	[0..1]	画面	取引明細入力画面の支払通知番号を設定します。	-
4	<IssueDateTime>	支払通知発行日	[0..1]	画面	取引明細入力画面の支払通知発行日を設定します。	-
5	<IssuerAssignedID>	請求書番号	[0..1]	画面	取引明細入力画面の請求書番号(入力推奨)を設定します。	-
6	<PayerID>	支払人企業法人コード	[0..1]	画面	取引明細入力画面の支払人企業法人コード(入力推奨)を設定します。	-
7	<PayeeID>	受取人企業法人コード	[0..1]	画面	取引明細入力画面の受取人企業法人コードを設定します。	-
8	<BuyerName>	請求先企業名	[0..1]	画面	取引明細入力画面の請求先企業名を設定します。	-
9	<BuyerID>	請求先企業法人コード	[0..1]	画面	取引明細入力画面の請求先企業法人コードを設定します。	-
10	<PaymentTotalAmount>	支払金額(明細)	[0..1]	画面	取引明細入力画面の支払金額(明細)を設定します。	-
11	<BalanceOutReasonDescription>	金額相殺理由	[0..1]	画面	取引明細入力画面の金額相殺理由を設定します。	-
12	<BalanceOutCalculatedAmount>	相殺金額	[0..1]	画面	取引明細入力画面の相殺金額を設定します。	-
13	<TaxCalculatedAmount1>	税額1	[0..1]	画面	取引明細入力画面の税額1を設定します。	-
14	<TaxCalculatedRate1>	税率1	[0..1]	画面	取引明細入力画面の税率1を設定します。	-

表 4.3-5 金融 EDI 情報項目(2/2)

項番	XMLタグ	論理名	繰返	設定元	設定内容	備考
15	<TaxCalculatedAmount2>	税額2	[0..1]	画面	取引明細入力画面の税額2を設定します。	-
16	<TaxCalculatedRate2>	税率2	[0..1]	画面	取引明細入力画面の税率2を設定します。	-
17	<TaxTotalAmount>	税額(合計)	[0..1]	画面	取引明細入力画面の税額(合計)を設定します。	-
18	<Content>	備考	[0..1]	画面	取引明細入力画面の備考を設定します。	-

## 4.4 よくある質問と対処方法／回答

簡易 XML ファイル作成機能の操作に関する、よくある質問とその対処方法／回答を表 4.4-1 に示します。

表 4.4-1 よくある質問と対処方法／回答

項番	よくある質問	対処方法／回答
1	ボタンが押せません。もしくは、ボタンを押しても反応がありません。	ブラウザの設定が正しいことを確認してください。設定方法は「1.5 接続するための準備」をご参照ください。
2	サービスの利用に手数料はかかりますか。	手数料はかかりません。
3	利用者登録は必要ですか。	利用者登録は必要ありません。どなたでも自由にご利用いただけます。
4	「入力形式が間違っています。」というエラーが出てしまいます。	対象項目に使用できない文字を入力した場合に入力形式誤りのエラーとなります。対象項目で使用できる文字を、マニュアルの「4.1 簡易 XML ファイル作成機能で入力可能な文字」でご確認のうえ、再度入力してください。

Windows および Internet Explorer、Microsoft Edge は Microsoft Corporation の登録商標です。

---

一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク  
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

---

Copyright(c) 2018 NTT DATA CORPORATION

複製・無断転載厳禁